

鳥取県がん検診実績報告書

平成12年 3月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は じ め に

鳥取県における“がん検診”は、胃集団検診（胃集検）事業が嚆矢であります。昭和37年、エーザイ株式会社の検診車を利用して、鳥取大学医学部第2内科の有志によるモデル事業が開始され、施設検診としては昭和39年鳥取県立厚生病院においてX線テレビのモニター写真による検診が試行されています。

昭和41年11月、鳥取県対がん協会により全県的に胃集検診事業が本格的にスタートしました。さらに、昭和44年9月には東・中・西部医師会に胃集検フィルム読影委員会が設立され、胃集検の普及に対応するフィルム読影の体制が確立されました。

更に、子宮がん検診は医療機関での施設検診として昭和42年より実施されており、これらの事業は、昭和46年に鳥取県健康対策協議会（健対協）が発足して、胃がん検診、子宮がん検診とも、対策専門委員会を設け、健対協事業として衣替えをしています。

また、昭和58年に老人保健法による保健事業が施行され、胃がん、子宮がんに加えて、昭和63年に肺がん、乳がん検診が、平成4年には大腸がん検診が、また、平成7年度からは鳥取県独自の事業として肝臓がん検診が開始され、現在、健対協事業として6項目のがん検診を制度化しています。

他方、昭和59年に県に成人病検診管理指導協議会が設置され、各がん検診の精度管理を指導してきましたが、昭和63年からこの事業が健対協に委託され、対策専門委員会と検診管理指導協議会各部会との合同委員会を開催し、精度管理の向上に努めてまいりました。

近年、医療機関における個別検診が増加したため、精密医療機関登録指定に際して、検診従事者講習会への出席の義務化をもとめてまいりました。

平成6年度に、がん検診の精度向上を一層高めるため、「がん検診精度確保事業」が施行されました。その事業の一環として各がん検診に関する全ての記録を一括してまとめ、鳥取県におけるがん検診の実態を総括する意味で平成7年3月に第1報を発刊いたしました。今回は第6報となります。

平成10年度からはがん検診事業費が一般財源化され、市町村の自主判断に委ねられましたが、がん検診の継続と推進のための鳥取県がん検診推進協議会が設置されました。

本書は不備な点もあるかと思いますが、精度管理向上の一助となれば幸いです。

平成12年3月

鳥取県健康対策協議会

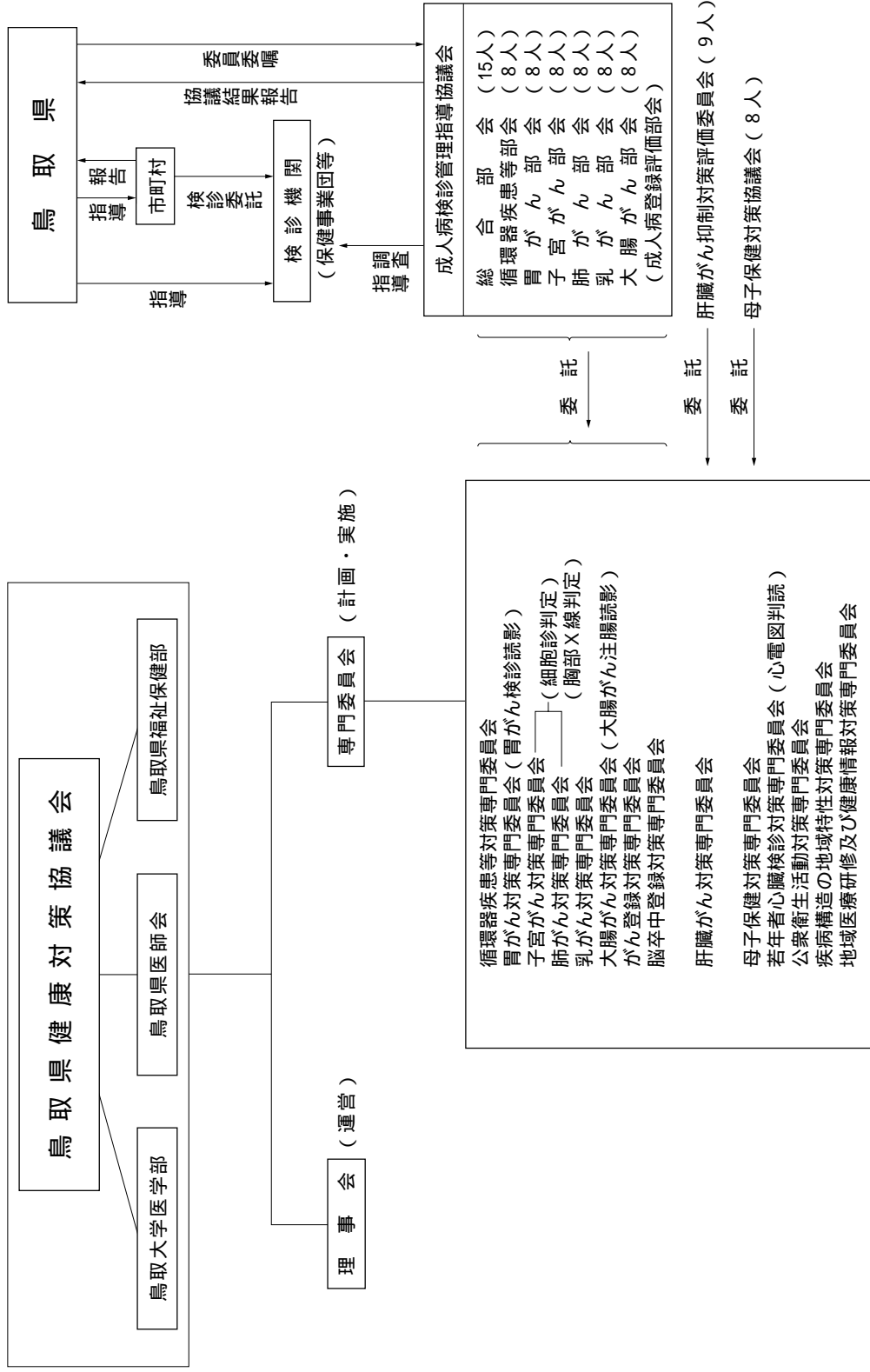
会 長 入 江 宏 一

目 次

・ 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図.....	1
・ 平成10年度各がん検診事業実績	
1 . 胃がん検診.....	3
2 . 子宮がん検診.....	12
3 . 肺がん検診.....	20
4 . 乳がん検診.....	36
5 . 大腸がん検診.....	44
6 . 肝臓がん検診.....	56
7 . 全国がん検診実績との比較.....	68
・ 平成11年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1 . 子宮がん検診症例研究会報告.....	75
2 . 肺がん検診症例研究会報告.....	76
3 . 乳がん検診症例研究会報告.....	77
4 . 大腸がん検診症例研究会報告.....	79
5 . 肝臓がん検診症例研究会報告.....	81
6 . 各地区がん検診症例検討会開催状況.....	85
・ 各がん検診精密検査医療機関登録について.....	86

鳥取県健康対策協議会と成人病検診精度管理組織図

(昭和46年 1月26日発足)



・平成10年度各がん検診事業実績

1 . 胃 が ん 検 診

1 . 胃がん検診実績

平成10年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は171,250人で、このうち受診者数は41,165人（車検診：23,993人、施設検診：17,172人）で、受診率は24.0%であった。平成9年度より受診者数は3,027人減少し、受診率は1.2ポイント減少した。

車検診が占める割合が、平成9年度に引き続いて6割を割った。また、一次検診受診者の経年受診率は67.4%であった。

要精検者数は7,526人（車検診：3,855人、施設検診：3,671人）、要精検率は18.3%（車検診：16.1%、施設検診：21.4%）で、前年度と比べ要精検率は0.7ポイント減少している。

このうち、精密検査を受診したのは、5,671人、精検受診率は75.4%で、前年度と比べ2.2ポイント減少している。

精検結果は胃がん90人、胃がん疑い5人、がん発見率は0.23%であった。

年代別にみると、受診率は70～74歳、要精検率、がん発見率は80歳以上がそれぞれ最も高かった。

平成10年度の全国平均は受診率13.3%、要精検率12.4%、がん発見率0.17%である。鳥取県の受診率は全国第7位と非常に良い成績であるが、要精検率、がん発見率はともに全国平均を上回っている。

2 . 胃がん検診発見胃がん追跡調査結果

平成10年度に発見された胃がんまたは胃がん疑いについて追跡調査を行った。その結果、確定胃がん数は84例（車検診39例、施設検診45例）であった。

このうち、切除例数は83例（うち内視鏡切除9例を含む）で、内訳は早期癌59例（車検診28例、施設検診31例）、進行癌25例（車検診11例、施設検診14例）で早期癌率は70.2%であった。

男性50例・女性34例で、女性のがんが増えつつある。また、年齢別にみると、男女とも60～69歳のがん発見が多かった。

早期胃がんの肉眼分類はcが45.8%、進行癌の肉眼分類はBorr型が32.0%と多かった。

切除例の深達度は「t1」が69.0%を占めた。また、切除例の大きさは、直径2cm以内が28.6%で、特に施設検診では42.9%で、昨年度より小さな癌が多く発見された。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平 成 5 年 度	平 成 6 年 度	平 成 7 年 度	平 成 8 年 度	平 成 9 年 度	平 成 10 年 度
一次検診	対 象 者 数(人)	182,268	177,037	176,816	183,662	175,612	171,250
	受 診 者 数(人)	48,768	47,643	46,923	44,831	44,192	41,165
	受 診 率(%)	26.8	26.9	26.5	24.4	25.2	24.0
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	38,910	37,524	37,421	36,072	35,782	33,639
	要 精 検 者 数(人)	9,858	10,119	9,502	8,759	8,410	7,526
	要精検者の割合(%)	20.2	21.2	20.3	19.5	19.0	18.3
精密検査	受 診 者 数(人)	7,703	8,004	7,404	6,659	6,523	5,671
	受 診 率(%)	78.1	79.1	77.9	76.0	77.6	75.4
精密検査結果	胃がん又はがんの疑いのある者(人)	133	137	121	114	103	95
	胃 がん 発 見 率(%)	0.27	0.29	0.26	0.25	0.23	0.23

(2) 平成10年度胃がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受 診 者 数(人)		一 次 検 診 結 果				要 精 検 率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	818	1,381	188	152	630	1,229	23.0	11.0
45 ~ 49	1,048	1,982	247	216	801	1,766	23.6	10.9
50 ~ 54	1,134	2,650	261	330	873	2,320	23.0	12.5
55 ~ 59	1,107	3,260	267	465	840	2,795	24.1	14.3
60 ~ 64	2,193	4,839	521	729	1,672	4,110	23.8	15.1
65 ~ 69	3,096	5,523	775	931	2,321	4,592	25.0	16.9
70 ~ 74	2,726	4,159	664	723	2,062	3,436	24.4	17.4
75 ~ 79	1,384	2,148	329	377	1,055	1,771	23.8	17.6
80歳以上	783	934	180	171	603	763	23.0	18.3
計	14,289	26,876	3,432	4,094	10,857	22,782	24.0	15.2
合 計	41,165		7,526		33,639		18.3	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	107	116	56.9	76.3
45 ~ 49	152	157	61.5	72.7
50 ~ 54	161	252	61.7	76.4
55 ~ 59	176	344	65.9	74.0
60 ~ 64	351	566	67.4	77.6
65 ~ 69	585	763	75.5	82.0
70 ~ 74	518	590	78.0	81.6
75 ~ 79	269	295	81.8	78.2
80歳以上	136	133	75.6	77.8
計	2,455	3,216	71.5	78.6
合 計	5,671		75.4	

年 齢	精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃がん		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	39	41	67	75	1	0	0	0	0.12	0.00
45 ~ 49	48	58	104	99	0	0	0	0	0.00	0.00
50 ~ 54	46	77	114	175	0	0	1	0	0.09	0.00
55 ~ 59	45	125	127	217	0	0	4	2	0.36	0.06
60 ~ 64	85	186	260	370	0	0	6	10	0.27	0.21
65 ~ 69	169	261	392	491	1	0	23	11	0.78	0.20
70 ~ 74	140	198	366	383	0	0	12	9	0.44	0.22
75 ~ 79	77	90	187	202	1	0	4	3	0.36	0.14
80歳以上	31	37	101	93	1	1	3	2	0.51	0.32
計	680	1,073	1,718	2,105	4	1	53	37	0.40	0.14
合 計	1,753		3,823		5		90		0.23	

3) 検診機関別

① 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	8,372	15,621	1,882	1,973	6,490	13,648	22.5	12.6
病院	1,766	3,136	623	867	1,143	2,269	35.3	27.6
診療所	4,151	8,119	927	1,254	3,224	6,865	22.3	15.4
計	14,289	26,876	3,432	4,094	10,857	22,782	24.0	15.2
合計	41,165		7,526		33,639		18.3	

② 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
保健事業団	1,346	1,604	71.5	81.3
病院	397	607	63.7	70.0
診療所	712	1,005	76.8	80.1
計	2,455	3,216	71.5	78.6
合計	5,671		75.4	

一次検診機関	精密検査結果								胃がん発見率(%)	
	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	374	543	943	1,044	2	1	27	16	0.35	0.11
病院	144	227	240	375	2	0	11	5	0.74	0.16
診療所	162	303	535	686	0	0	15	16	0.36	0.20
計	680	1,073	1,718	2,105	4	1	53	37	0.40	0.14
合計	1,753		3,823		5		90		0.23	

4) 平成10年度鳥取県胃がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		人員								
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J	K=J/H	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D
鳥取市	37,700	709	5,505	6,214	16.5	90	1,252	1,342	21.6	976	72.7	357	606	0	13	619	0.209
米子市	39,095	1,125	6,223	7,348	18.8	165	1,237	1,402	19.1	1,156	82.5	300	841	0	15	856	0.204
倉吉市	9,368	1,295	259	1,554	16.6	315	90	405	26.1	305	75.3	110	190	0	5	195	0.322
境港市	11,111	1,444	1,751	1,895	17.1	26	207	233	12.3	171	73.4	27	135	0	9	144	0.475
鳥取市	1,479	575	96	671	45.4	56	20	76	11.3	63	82.9	23	40	0	0	40	0.000
岩美町	3,127	978	179	1,157	37.0	139	106	245	21.2	164	66.9	28	136	0	0	136	0.000
福部村	1,099	140	182	322	29.3	14	41	55	17.1	26	47.3	7	18	0	1	19	0.311
郡家町	2,234	742	150	892	39.9	98	40	138	15.8	99	71.7	22	74	0	3	77	0.336
船岡町	1,546	499	21	520	33.6	76	6	82	15.5	60	73.2	17	42	0	1	43	0.192
河原町	3,561	505	213	718	20.2	70	65	135	18.8	98	72.6	37	60	0	1	61	0.139
八東町	1,837	727		727	39.6	107		107	14.7	91	85.0	43	48	0	48	0.000	
若桜町	1,630	453	145	598	36.7	47	23	70	11.7	46	65.7	21	23	0	2	25	0.334
用瀬町	493	409	15	424	86.0	39	1	40	9.4	35	87.5	12	23	0	0	23	0.000
佐治村	1,128	267	186	453	40.2	24	29	53	11.7	35	66.0	16	18	0	1	19	0.221
智頭町	5,608	1,068	100	1,168	20.8	163	24	187	16.0	137	73.3	51	84	0	2	86	0.171
気高町	1,269	618	325	943	74.3	106	89	195	20.7	164	84.1	68	92	0	4	96	0.424
鹿野町	1,483	45	658	703	47.4	6	108	114	16.2	94	82.5	24	69	0	1	70	0.142
書谷町	1,105	640	145	785	71.0	114	44	158	20.1	122	77.2	55	63	1	3	67	0.510
羽合町	1,578	530	39	569	36.1	87	9	96	16.9	75	78.1	17	56	0	2	58	0.351
東郷町	2,171	610	7	617	28.4	117	4	121	19.6	82	67.8	32	49	0	1	50	0.162
三朝町	2,144	742		742	34.6	147		147	19.8	122	83.0	33	88	0	1	89	0.135
関金町	1,150	522		522	45.4	102		102	19.5	81	79.4	42	39	0	0	39	0.000
北奈町	1,885	473	181	654	34.7	92	37	129	19.7	97	75.2	34	61	0	2	63	0.306
大栄町	2,430	1,032		1,032	42.5	192		192	18.6	146	76.0	55	90	0	1	91	0.097
赤伯町	4,570	1,433		1,433	31.4	288		288	20.1	218	75.7	33	179	0	6	185	0.419
東郷町	2,947	925		925	31.4	185		185	20.0	137	74.1	41	94	0	2	96	0.216
西伯町	2,882	375	198	573	19.9	56	49	105	18.3	72	68.6	23	47	0	2	49	0.349
余見町	1,692	328		328	19.4	36		36	11.0	30	83.3	8	22	0	0	22	0.000
岸本町	3,090	564		564	18.3	93		93	16.5	69	74.2	18	50	0	1	51	0.177
日吉津村	619	242	137	379	61.2	39	20	59	15.6	49	83.1	9	39	0	1	40	0.264
淀江町	4,474	593	121	714	16.0	75	16	91	12.7	73	80.2	11	59	2	1	62	0.420
大山町	903	485	28	513	56.8	61	13	74	14.4	59	79.7	12	47	0	0	47	0.000
名和町	1,848	757	87	844	45.7	145	39	184	21.8	106	57.6	33	73	0	0	73	0.000
中山町	1,698	459	41	500	29.4	64	8	72	14.4	55	76.4	11	44	0	0	44	0.000
日南町	3,883	1,117		1,117	28.8	133		133	11.9	103	77.4	36	65	1	1	67	0.179
日野町	1,949	646		646	33.1	94		94	14.6	74	78.7	10	61	0	3	64	0.464
江府町	2,402	400		400	16.7	54		54	13.5	40	74.1	12	26	0	2	28	0.500
溝口町	1,379	674		674	48.9	107		107	15.9	91	85.0	46	43	0	2	45	0.297
合計	171,250	23,993	17,172	41,165	24.0	3,855	3,671	7,526	18.3	5,671	75.4	1,753	3,823	5	90	3,918	0.231

(3) 平成10年度胃がん検診発見胃がん患者追跡調査結果について

表1 報告胃がん追跡調査

地区 検診別	東 部		中 部		西 部		計
	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	
確定胃癌	11	20	16	2	12	23	84
癌発見率	33 0.202		18 0.215		35 0.212		0.204
早期癌 (%)	7 69.7	16	11 72.2	2	10 65.7	13	59 70.2
進行癌	4	4	5	0	2	10	25
切除例	11	20	16	2	12	22	83
非切除例	0	0	0	0	0	1	1

手術拒否..... 1

内視鏡手術：東(4)、中(2)、西(3)

表2 性・年齢別

	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	0	7	26	14	3	50
女	0	2	21	9	2	34
計	0	9	47	23	5	84

表3 早期がんの肉眼分類

	東 部		中 部		西 部		計 (%)
	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	
	0	2	2	0	0	0	4(6.8)
a	1	2	3	2	3	1	12(20.3)
c	4	8	4	0	3	8	27(45.8)
c+	0	0	0	0	0	2	2(3.4)
a+c	2	4	1	0	4	1	12(20.3)
その他	0	0	1	0	0	1	2(3.4)
計	7	16	11	2	10	13	59(100.0)

表4 進行がんの肉眼分類

	東 部		中 部		西 部		計 (%)
	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	
1	0	0	0	0	0	2	2(8.0)
2	2	0	1	0	0	2	5(20.0)
3	0	1	4	0	0	3	8(32.0)
4	2	0	0	0	1	2	5(20.0)
5	0	3	0	0	1	1	5(20.0)
不 明	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
計	4	4	5	0	2	10	25(100.0)

表5 切除例の深達度

	東 部		中 部		西 部		計
	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	
t1	7	16	11	2	10	12	58
	23		13		22		
t2	2	2	2	0	1	2	9
t3	2	2	3	0	1	7	15
t4	0	0	0	0	0	0	0
計	11	20	16	2	12	21	82
不 明	0	0	0	0	0	2	2

表6 切除例の大きさ

mm	~10	11~20	小計(%)	21~50	51~	計	不 明
車 検 診	1	3	4(11.4)	20	11	35	4
施設検診	7	11	18(42.9)	14	10	42	3
計	8	14	22(28.6)	34	21	77	7

表7 1 切除例の占拠部位（早期がん）

部 位	車 検 診	施設検診
C	3	3
M	11	17
A	13	9
全 体	0	0
計	27	29
不 明	1	2

部 位	車 検 診	施設検診
小 弯	5	12
大 弯	4	2
前 壁	6	8
後 壁	11	7
全 周	0	0
計	26	29
不 明	2	2

表7 2 切除例の占拠部位（進行がん）

部 位	車 検 診	施設検診
C	3	5
M	5	6
A	3	3
全 体	0	0
計	11	14
不 明	0	0

部 位	車 検 診	施設検診
小 弯	7	2
大 弯	0	3
前 壁	0	2
後 壁	1	4
全 周	3	3
計	11	14
不 明	0	0

表8 前年度受診歴を有する集検発見進行がん

地区	検 診	歳	性	型	深達度	組織型	大(mm)	占拠部位	
東部	車 検 診	72	女	2	t(ss)	por	15×25	C	小弯
中部	車 検 診	55	男	3	t(ss)	por	48×52	A	小弯前壁
	車 検 診	69	男	3	t(se)	sig	45×70	M	小弯
	車 検 診	71	男	3	t(se)	por	65×70	MC	小弯前壁
	車 検 診	77	女	3	t(se)	por	45×55	C	小弯
西部	車 検 診	67	男	4	t(se)	por	84×105	MC	全周
東部	施設検診	64	男	3	t(se)	tub ₁	40×48	C	後壁
西部	施設検診	70	女	4	t(pm)	por	48×61	C	全周
	施設検診	60	男	5	t(se)	por	40×65	M	後壁
	施設検診	71	女	3	t(se)	por	40×110	CMA	小弯
	施設検診	67	女	2	t(se)	por	20×390	A	全周

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成10年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は124,486人で、このうち受診者数は26,787人（「頸部のみ」26,406人、「頸部+体部」381人）で受診率は21.5%であった。平成9年度より対象者は2,900人、受診者数は2,166人減少し、受診率は1.2ポイント減少した。受診者数は平成3年度をピークに減少傾向にある。

また、一次検診受診者の経年受診率は82.1%であった。

要精検者数は113人（車検診：29人、施設検診：84人）、要精検率は0.42%で前年度と同率であった。

このうち、精密検査を受診したのは91人、精検受診率は80.5%で前年度より4.6ポイント減少した。

精検結果は、子宮がん11人、異形成31人の合計42人であり、子宮がん発見率は0.16%であった。平成9年度と同率であった。

年代別にみると受診率は50～54歳が高く、精検受診率、要精検率、がん発見率は30歳～39歳が高かった。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数26,787人中、体部がん検診対象者数は404人で、一次検診会場での受診者は353人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が28人で、受診者の合計は381人で、受診率は94.3%であった。

一次検診の結果、要精検となった者は21人、要精検率6.0%で、精検受診者数17人、精検受診率は81.0%であった。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から2人発見された。子宮内膜増殖症は一次検診会場での受診者からは4人、医療機関での検査受診者からは5人、計9人が発見された。がん発見率は2.72%であった。

3. 子宮がん検診発見子宮がん追跡調査結果

平成10年度に発見された子宮頸部癌11例、異形成31例について追跡調査を行った。その結果、子宮頸部癌が10例（車検診：4例、施設検診：6例）で、このうち0期が5例、a期が3例、b期以上が3例であった。ここ数年がん発見率は同じ傾向である。

また、発見された子宮体部癌2例、子宮内膜増殖症9例についての追跡調査の結果、子宮体部癌が1例、子宮内膜増殖症4例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度
一次検診	対象者数(人)	139,076	134,657	128,319	132,865	127,386	124,486
	受診者数(人)	35,211	32,793	31,178	29,486	28,953	26,787
	受診率(%)	25.3	24.4	24.3	22.2	22.7	21.5
一次検診結果	異常認めず(人)	35,007	32,554	30,998	29,323	28,832	26,674
	要精検者数(人)	204	239	180	163	121	113
	要精検者の割合(%)	0.58	0.73	0.58	0.55	0.42	0.42
精密検査	受診者数(人)	188	212	160	145	103	91
	受診率(%)	92.2	88.7	88.9	89.0	85.1	80.5
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	77	84	51	56	47	42
	子宮がん発見率(%)	0.22	0.26	0.16	0.19	0.16	0.16

(2) 平成10年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	1,148	14	1,134	1.22
35 ~ 39	2,002	18	1,984	0.90
40 ~ 44	2,429	15	2,414	0.62
45 ~ 49	2,896	20	2,876	0.69
50 ~ 54	3,128	13	3,115	0.42
55 ~ 59	3,241	13	3,228	0.40
60 ~ 64	4,323	8	4,315	0.19
65 ~ 69	4,105	9	4,096	0.22
70歳以上	3,515	3	3,512	0.09
計	26,787	113	26,674	0.42

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異 形 成	子宮がん	
30 ~ 34	12	85.7	2	1	7	2	0.78
35 ~ 39	16	88.9	5	2	8	1	0.45
40 ~ 44	13	86.7	5	5	2	1	0.12
45 ~ 49	13	65.0	4	4	3	2	0.17
50 ~ 54	11	84.6	1	3	5	2	0.22
55 ~ 59	10	76.9	2	3	4	1	0.15
60 ~ 64	7	87.5	4	2	1	0	0.02
65 ~ 69	8	88.9	4	2	1	1	0.05
70歳以上	1	33.3	0	0	0	1	0.03
計	91	80.5	27	22	31	11	0.16

3) 検診機関別

① 一次検診結果

一次検診機関	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
保健事業団	13,012	29	12,983	0.22
病 院	4,452	20	4,432	0.45
診 療 所	9,323	64	9,259	0.69
計	26,787	113	26,674	0.42

② 精密検査結果

一次検診 機 関	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異 形 成	子宮がん	
保健事業団	21	72.4	4	5	8	4	0.09
病 院	17	85.0	9	2	4	2	0.13
診 療 所	53	82.8	14	15	19	5	0.26
計	91	80.5	27	22	31	11	0.16

4) 平成10年度子宮体部がん検診結果

① 一次検診結果

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		異常認めず	要精検者数	
30 ~ 34	10	10	0	0.00
35 ~ 39	31	28	3	9.68
40 ~ 44	53	53	0	0.00
45 ~ 49	94	91	3	3.19
50 ~ 54	88	83	5	5.68
55 ~ 59	45	38	7	15.56
60 ~ 64	18	15	3	16.67
65 ~ 69	10	10	0	0.00
70歳以上	4	4	0	0.00
計	353	332	21	5.95

② 精密検査結果

年 齢	精密検査 受診者数 (人)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮がん	
30 ~ 34	0	0	0	0	0	0.00
35 ~ 39	3	1	0	1	1	6.45
40 ~ 44	0	0	0	0	0	0.00
45 ~ 49	1	1	0	0	0	0.00
50 ~ 54	3	1	2	0	0	0.00
55 ~ 59	8	3	1	3	1	8.89
60 ~ 64	2	1	1	0	0	0.00
65 ~ 69	0	0	0	0	0	0.00
70歳以上	0	0	0	0	0	0.00
計	17	7	4	4	2	1.70

③ 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果

年 齢	体部がん検査 受診者数	検 査 結 果			
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん
30 ~ 34	2	1	0	1	0
35 ~ 39	3	3	0	0	0
40 ~ 44	2	0	0	2	0
45 ~ 49	2	1	1	0	0
50 ~ 54	5	4	1	0	0
55 ~ 59	7	5	1	1	0
60 ~ 64	2	2	0	0	0
65 ~ 69	4	1	2	1	0
70歳以上	1	1	0	0	0
計	28	18	5	5	0

5) 平成10年度子宮頸部がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果別人員							
	対象者数 A	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の病 M	がん疑い N	がん O	異常者総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	29,700	739	2,638	3,377	11.4	1	22	23	0.7	20	9	4	5	2	11	0.207
米子市	28,930	4	5,508	5,512	19.1	0	22	22	0.4	20	3	4	9	4	17	0.236
倉吉市	6,020	367	816	1,183	19.7	2	10	12	1.0	11	4	2	5	0	7	0.423
境港市	8,098		975	975	12.0		5	5	0.5	4	1	1	1	1	3	0.205
国府町	1,073	500	50	550	51.3	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
岩美町	2,482	768		768	30.9	1	1	1	0.1	1	0	1	0	0	1	0.000
福部村	859	101	118	219	25.5	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
郡家町	1,571	611	106	717	45.6	0	1	1	0.1	1	0	0	1	0	1	0.139
船岡町	938	338	4	342	36.5	2	0	2	0.6	2	0	1	1	0	2	0.292
河原町	2,368	336	144	480	20.3	2	2	4	0.8	4	1	2	0	1	3	0.208
八東町	1,509	421	421	421	27.9	2	2	2	0.5	2	1	0	1	0	1	0.238
若桜町	1,380	450		450	32.6	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
用瀬町	399	152	137	289	72.4	1	0	1	0.3	1	0	0	0	1	1	0.346
佐治村	727	249	54	303	41.7	1	1	2	0.7	1	0	1	0	0	1	0.000
智頭町	3,741	37	714	751	20.1	1	0	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0.000
気高町	734	140	270	410	55.9	1	1	2	0.5	1	0	0	1	0	1	0.244
鹿野町	990	150	105	255	25.8	2	1	3	1.2	2	0	0	1	0	1	0.392
書谷町	515	273	9	282	54.8	2	1	3	1.1	2	0	2	0	0	2	0.000
羽合町	1,212	137	246	383	31.6	0	4	4	1.0	2	2	0	0	0	0	0.000
東郷町	1,578	206	132	338	21.4	2	4	6	1.8	2	0	0	2	0	2	0.592
三朝町	1,473	454		454	30.8	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
関金町	859	351		351	40.9	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
北奈町	1,427	22	474	496	34.8	0	1	1	0.2	1	1	0	0	0	0	0.000
大栄町	1,402	1,065		1,065	76.0	2	2	2	0.2	1	0	0	1	0	1	0.094
赤伯町	3,343	723	135	858	25.7	1	1	2	0.2	2	2	0	0	0	0	0.000
赤碓町	2,091	553		553	26.4	2	2	2	0.4	0	0	0	0	0	0	0.000
西伯町	2,011	283		283	14.1	2	2	2	0.7	1	1	0	0	0	0	0.000
余見町	1,034	226	12	238	23.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,365	430	85	515	21.8	4	0	4	0.8	4	0	1	1	2	4	0.583
日吉津村	511	34	247	281	55.0	0	1	1	0.4	1	0	1	0	0	1	0.000
淀江町	3,314	72	561	633	19.1	0	2	2	0.3	2	0	1	1	0	2	0.158
大山町	666	375		375	56.3	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
名和町	1,344	106	352	458	34.1	0	1	1	0.2	1	0	1	0	0	1	0.000
中山町	919		147	147	16.0	1	1	1	0.7	0	0	0	0	0	0	0.000
日南町	2,342	691		691	29.5	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
日野町	1,531	430		430	28.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
江府町	1,624	239	46	285	17.5	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
溝口町	929	517		517	55.7	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
合計	124,486	13,012	13,775	26,787	21.5	29	84	113	0.4	91	27	22	31	11	64	0.157

(3) 平成10年度子宮がん検診発見子宮がん患者追跡調査結果について

表1 子宮がん検診追跡調査結果（頸部）

最終診断	車検診		施設検診	
	平成9年度	平成10年度	平成9年度	平成10年度
異形成	10	8	26	24
頸癌 0期	2	0	5	5
頸癌 a期	1	2	1	0
頸癌 b期以上	0	2	2	1
合計	13	12	34	30

表2 子宮がん検診追跡調査結果（体部）

最終診断	平成9年度	平成10年度
増殖症	7	4
体癌 a、b期	2	0
体癌 c期以上	2	1
合計	11	5

表3 発見子宮がん症例のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	3	1	4
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	1	1
初回受診	1	1	2

表4 治療機関

	0期	a期	b期以上	体癌
鳥取大学	2	1	2	0
県立中央	1	0	0	0
鳥取日赤	0	0	0	1
鳥取市立	1	1	1	0
県立厚生	0	0	0	0
博愛病院	1	0	0	0

3 . 肺 が ん 検 診

1 . 肺がん検診実績

平成10年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は172,667人で、このうち受診者数は64,540人（車検診：55,858人、施設検診：8,682人）で、受診率は37.4%であった。平成9年度より受診者数は2,552人減少したが、受診率は変らなかった。

要精検者数は137人で、要精検率は0.21%で、前年度より0.02ポイント減少した。検診機関別にみると、施設検診での要精検率が男女とも高かった。しかし、病院の精検受診率は57.7%とかなり低い結果であった。

精検結果は肺がん42人、肺がん疑い6人の合計48人で発見率は0.07%で、前年度より0.03ポイント減少した。12件は鳥取市の医療機関検診で発見されており、初回受診者数が増えたため、がんが多く発見されたと思われる。

また、受診者総数のうち経年受診者は47,907人で全体の74.2%を占めている。この経年受診者からはがんが34人発見されており、発見率は0.071%、非経年受診者からの発見がんは14人、発見率0.084%で、非経年受診者の発見率が高かった。

X線検査受診者64,540人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,542人で、そのうち喀痰検査を受診した者は3,553人で半数に満たなかった。高危険群所属者8,542人のうち、がん・がん疑いの者が18人発見され、がん発見率は0.211%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が30人発見され、がん発見率は0.054%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約3.9倍高かった。

2 . 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

昭和62年度から平成10年度までに発見された肺がんまたは肺がん疑い462例について予後調査を行った。その結果、肺がん確定診断が437例で、内訳は原発性肺癌は383例、転移性肺癌が54例であった。

原発性肺癌の診断方法は胸部X線間接301例（78.6%）、細胞診49例（12.8%）、両者31例（8.1%）であった。

原発性肺癌383例の臨床病期ではStage 187例（48.8%）を占め、組織型では腺癌169例、扁平上皮癌が149例が大半を占めていた。

平均年齢70.4歳、男：女 = 253：130で最近女性が増加している。

全手術例の5年生存率は57.5%、10年生存率は34.9%であった。性別でみると女性の方が予後がよく、組織型では腺癌、Stage Aの予後がよかった。

平成10年度は40例の肺癌が発見され、発見率10万対62であった。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度
一次検診	対象者数(人)	186,086	182,080	183,971	183,887	179,302	172,667
	受診者数(人)	69,027	66,316	65,226	64,169	67,092	64,540
	受診率(%)	37.1	36.4	35.5	34.9	37.4	37.4
一次検診結果	異常認めず(人)	68,894	66,213	65,064	64,055	66,940	64,403
	要精検者数(人)	133	103	162	114	152	137
	要精検者の割合(%)	0.19	0.16	0.25	0.18	0.23	0.21
精密検査	受診者数(人)	98	89	135	91	123	111
	受診率(%)	73.7	86.4	83.3	79.8	80.9	81.0
精密検査結果	肺がん又はがんの疑いのある者(人)	48	31	47	50	70	48
	肺がん発見率(%)	0.07	0.05	0.07	0.08	0.10	0.07

(2) 平成10年度肺がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

① X線検査結果

年 齢	胸 部 X 線 検 査					
	X線検査受診者数 A		経年受診者数再掲 B		経年受診者数割合 (%) C = B / A	
	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	915	2,017	549	1,249	60.0	61.9
45 ~ 49	1,331	2,616	962	1,805	72.3	69.0
50 ~ 54	1,438	3,226	978	2,198	68.0	68.1
55 ~ 59	1,479	4,093	1,010	2,948	68.3	72.0
60 ~ 64	3,242	6,545	2,300	4,827	70.9	73.8
65 ~ 69	4,676	7,928	3,604	6,031	77.1	76.1
70 ~ 74	4,669	7,068	3,705	5,501	79.4	77.8
75 ~ 79	2,804	4,872	2,213	3,718	78.9	76.3
80歳以上	2,142	3,479	1,664	2,645	77.7	76.0
計	22,696	41,844	16,985	30,922	74.8	73.9
合 計	64,540		47,907		74.2	

年 齢	X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
	異常認めず D		要精検者数 E		要精検率 (%)		X線検査受診者中 高危険群所属者数 F	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	913	2,015	2	2	0.22	0.10	24	7
45 ~ 49	1,327	2,616	4	0	0.30	0.00	46	16
50 ~ 54	1,430	3,221	8	5	0.56	0.15	657	47
55 ~ 59	1,477	4,090	2	3	0.14	0.07	598	51
60 ~ 64	3,236	6,541	6	4	0.19	0.06	1,346	60
65 ~ 69	4,660	7,912	16	16	0.34	0.20	1,972	51
70 ~ 74	4,656	7,058	13	10	0.28	0.14	1,936	42
75 ~ 79	2,789	4,862	15	10	0.53	0.21	1,043	36
80歳以上	2,132	3,476	10	3	0.47	0.09	592	18
計	22,620	41,791	76	53	0.33	0.13	8,214	328
合 計	64,411		129		0.20		8,542	

② 喀痰細胞診検査

年 齢	喀痰細胞診 受診者数 (人) G		喀 痰 細 胞 診 結 果					
			精検不要 H		要精検者数 I		要精検率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	148	34	148	34	0	0	0.00	0.00
45 ~ 49	271	43	271	43	0	0	0.00	0.00
50 ~ 54	354	101	354	101	0	0	0.00	0.00
55 ~ 59	331	123	330	123	1	0	0.30	0.00
60 ~ 64	756	184	756	184	0	0	0.00	0.00
65 ~ 69	1,074	145	1,072	144	2	1	0.19	0.69
70 ~ 74	1,074	150	1,069	150	5	0	0.47	0.00
75 ~ 79	521	83	519	82	2	1	0.38	1.20
80歳以上	219	24	217	24	2	0	0.91	0.00
計	4,748	887	4,736	885	12	2	0.25	0.23
合 計	5,635		5,621		14		0.25	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	要精検者数		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)	
	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	2	2	2	1	100.0	50.0
45 ~ 49	4	0	2	0	50.0	0.0
50 ~ 54	8	5	2	5	25.0	100.0
55 ~ 59	3	3	2	2	66.7	66.7
60 ~ 64	6	4	6	4	100.0	100.0
65 ~ 69	16(2)	16(1)	13(2)	14(1)	81.3	87.5
70 ~ 74	17(1)	10	16(1)	8	94.1	80.0
75 ~ 79	16(1)	10(1)	15(1)	9(1)	93.8	90.0
80歳以上	12	3	8	2	66.7	66.7
計	84(4)	53(2)	66(4)	45(2)	78.6	84.9
合 計	137(6)		111(6)		81.0	

年 齢	精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺 が ん		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	2	1	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	2	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
50 ~ 54	2	3	0	1	0	0	0	1	0.000	0.031
55 ~ 59	0	0	0	1	1	0	1	1	0.135	0.024
60 ~ 64	2	1	4	1	0	0	0	2	0.000	0.031
65 ~ 69	4	2	1	6	2(1)	1	6(1)	5(1)	0.171	0.076
70 ~ 74	3	3	4	2	0	0	9(1)	3	0.193	0.042
75 ~ 79	3	5	4	0	0	1	8(1)	3(1)	0.285	0.082
80歳以上	0	1	5	0	1	0	2	1	0.140	0.029
計	18	16	18	11	4(1)	2	26(3)	16(2)	0.132	0.043
合 計	34		29		6(1)		42(5)		0.074	

() はX線検査と喀痰細胞診検査結果が両者とも要精検

3) 検診機関別

① 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	19,740	36,118	49	30	19,691	36,088	0.25	0.08
病 院	1,278	2,546	16	10	1,262	2,536	1.25	0.39
診 療 所	1,678	3,180	19	13	1,659	3,167	1.13	0.41
計	22,696	41,844	84	53	22,612	41,791	0.37	0.13
合 計	64,540		137		64,403		0.21	

② 精密検査結果

一次検診機関	要精検者数 (人)		精密検査受診者数		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女	男	女
保健事業団	49	30	43	26	87.8	86.7
病 院	16	10	8	7	50.0	70.0
診 療 所	19	13	15	12	78.9	92.3
計	84	53	66	45	78.6	84.9
合 計	137		111		81.0	

一次検診機関	精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	7	8	13	5	4	2	19	11	0.12	0.04
病 院	6	2	2	4	0	0	0	1	0.00	0.04
診 療 所	5	6	3	2	0	0	7	4	0.42	0.13
計	18	16	18	11	4	2	26	16	0.13	0.04
合 計	34		29		6		42		0.07	

4) 平成10年度肺がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果別人員							
	対象者数 A	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精検率 (%) I=H/D	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の病 M	がん疑い N	がん O	がん異常者総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	37,700	656	6,603	7,259	19.3	0	31	31	0.43	87.1	9	6	0	12	18	0.165
米子市	39,095	4,838		4,838	12.4	7		7	0.14	100.0	1	5	0	1	6	0.021
倉吉市	9,368	1,525	331	1,856	19.8	0	0	0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
境港市	11,111	839		839	7.6	2		2	0.24	100.0	0	0	0	2	2	0.238
国府町	1,898	1,239		1,239	65.3	2		2	0.16	100.0	2	0	0	0	0	0.000
岩美町	3,240	1,075		1,075	33.2	2		2	0.19	100.0	1	0	1	0	1	0.093
福部村	1,009	525		525	52.0	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
郡家町	2,708	1,619	137	1,756	64.8	3		3	0.17	66.7	0	0	0	2	2	0.114
船岡町	1,564	1,090	22	1,112	71.1	2		2	0.18	50.0	0	0	0	1	1	0.090
河原町	2,544	833	231	1,064	41.8	0	1	1	0.09	0.0	0	0	0	0	0	0.000
八東町	1,979	1,333	3	1,333	67.4	3		3	0.23	100.0	0	0	0	3	3	0.225
若桜町	1,430	744	145	889	62.2	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
用瀬町	966	855	15	870	90.1	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
佐治村	1,161	601	190	791	68.1	0	3	3	0.38	100.0	2	1	0	0	1	0.000
智頭町	3,717	1,652	101	1,753	47.2	5	8	13	0.74	61.5	5	3	0	0	3	0.000
気高町	1,668	1,180	328	1,508	90.4	0	2	2	0.13	100.0	0	2	0	0	2	0.000
鹿野町	1,488	987	133	1,120	75.3	1	13	14	1.25	57.1	7	1	0	0	1	0.000
書谷町	2,190	1,609	1	1,609	73.5	1		1	0.06	100.0	0	1	0	0	1	0.000
羽合町	1,725	1,291	39	1,330	77.1	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
泊村	975	370	178	548	56.2	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
東郷町	2,371	1,863		1,863	78.6	4		4	0.21	100.0	1	1	1	1	3	0.107
三朝町	2,412	2,151		2,151	89.2	6		6	0.28	83.3	1	0	0	4	4	0.186
関金町	1,364	1,168		1,168	85.6	3		3	0.26	100.0	0	1	0	2	3	0.171
北奈町	2,069	1,475	183	1,658	80.1	3	0	3	0.18	100.0	1	0	0	2	2	0.121
大栄町	2,984	2,501		2,501	83.8	1		1	0.04	100.0	0	0	0	1	1	0.040
赤伯町	4,295	3,401		3,401	79.2	3		3	0.09	100.0	0	1	0	2	3	0.059
赤碓町	3,090	2,311		2,311	74.8	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
西伯町	2,567	1,201		1,201	46.8	1		1	0.08	100.0	0	0	1	0	1	0.083
余見町	1,215	776		776	63.9	2		2	0.26	100.0	0	0	0	2	2	0.258
岸本町	3,090	1,538		1,538	49.8	3		3	0.20	66.7	0	0	0	2	2	0.130
日吉津村	731	421		421	57.6	1		1	0.24	100.0	0	0	0	1	1	0.238
淀江町	2,974	2,238		2,238	75.3	3		3	0.13	66.7	0	1	0	1	2	0.045
大山町	2,326	1,999	46	2,045	87.9	5	0	5	0.24	80.0	0	2	1	1	4	0.098
名和町	2,601	1,877		1,877	72.2	4		4	0.21	75.0	1	1	1	1	2	0.107
中山町	3,361	1,450		1,450	43.1	4		4	0.28	75.0	0	2	1	0	3	0.069
日南町	2,542	1,720		1,720	67.7	5		5	0.29	80.0	2	2	0	0	2	0.000
日野町	1,810	932		932	51.5	2		2	0.21	100.0	1	0	0	1	1	0.107
江府町	1,589	995		995	62.6	1		1	0.10	0.0	0	0	0	0	0	0.000
溝口町	1,740	980		980	56.3	0		0	0.00	0.0	0	0	0	0	0	0.000
合計	172,667	55,858	8,682	64,540	37.4	79	58	137	0.21	81.0	34	29	6	42	77	0.074

(3) 平成10年度肺がん検診発見肺がん患者の予後調査結果

肺がん確定診断（原発性383、転移性54）	437例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他3）	9例
他の良性疾患	16例
総計	462例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

年 度	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
原 発 性 肺 癌	6	22	18	32	36	37	41
転 移 性 肺 癌	0	4	4	4	7	9	3
合 計	6	26	22	36	43	46	44

年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	計
原 発 性 肺 癌	22	38	38	53	40	383
転 移 性 肺 癌	5	5	4	2	7	54
合 計	27	43	42	54	47	437

2) 原発性肺がん診断方法

[H10年度集計]

胸 X 間 接	Dのみ	128例	301例 (78.6%)	Dのみ	17例	33例 (82.5%)
	Eのみ	173例		Eのみ	16例	
細 胞 診	Dのみ	18例	49例 (12.8%)	Dのみ	2例	3例 (7.5%)
	Eのみ	31例		Eのみ	1例	
胸X線間接と細胞診	D + D	8例	31例 (8.1%)	D + D	2例	4例 (10.0%)
	D + E	8例		D + E	1例	
	E + D	4例		E + D	0例	
	E + E	11例		E + E	1例	
	不明	2例	2例 (0.5%)	不明	0例	0例 (0.0%)
	計		383例 (100.0%)		40例	

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者 (人)	要精検者 (人)	精検受診者 (人)	肺癌発見者 (人)	発見率(%) (対人口10万)
S . 62	16 420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S . 63	38 445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H . 1	52 473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H . 2	68 374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H . 3	70 ,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H . 4	69 ,909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H . 5	69 ,027	133 (0.19%)	98 (73.7%)	41	59
H . 6	66 ,316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H . 7	65 226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H . 8	64 ,169	113 (0.18%)	91 (80.5%)	38	59
H . 9	67 ,092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	52	78
H . 10	64 540	136 (0.21%)	109 (80.1%)	40	62
計	712 ,180	2 ,107 (0.30%)	1 ,796 (85.2%)	383	54

4) 原発性肺癌 (383例)

① 年齢・性別

区分	原発性肺癌	比率 (%)
50～59歳	33例	8.6
60～69歳	152	39.7
70～79歳	146	38.1
80～	52	13.6
計	383	100.0

平均年齢 = 70.4

男 : 女 = 253例 : 130例

[H10年度集計]

区分	原発性肺癌	比率 (%)
50～59歳	3例	7.5
60～69歳	12	30.0
70～79歳	23	57.5
80～	2	5.0
計	40	100.0

平均年齢 = 71.2

男 : 女 = 26例 : 14例

② 原発性肺癌の臨床病期と組織型

組織型 \ 病期	Occult			A	B		不明	計(%)
扁平上皮癌	2	76	10	34	8	13	6	149(38.9)
腺癌	0	93	11	23	11	29	2	169(44.2)
大細胞癌	0	3	0	2	0	0	0	5(1.3)
小細胞癌	0	5	6	7	3	4	2	27(7.0)
腺扁平上皮癌	0	2	0	2	0	0	0	4(1.0)
腺様嚢胞癌	0	0	0	1	0	0	0	1(0.3)
不明	0	8	2	1	2	5	10	28(7.3)
計	2 (0.5)	187 (48.8)	29 (7.6)	70 (18.3)	24 (6.3)	51 (13.3)	20 (5.2)	383 (100.0)

[H10年度集計]

臨床病期	(%)
Occult	1例
	17(42.5)
	4
A	9
B	3
	2
不明	4
計	40

組織型	(%)
扁平上皮癌	14例
腺癌	17(42.5)
大細胞癌	0
小細胞癌	4
腺扁平上皮癌	1
腺様嚢胞癌	1
不明	3
計	40

③ 原発性肺癌の手術症例 (208例、手術率: 54.3%)

a. 臨床病期、術後病期

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
	145例(69.7)		132例(63.5)
	14		17
A	39	A	39
B	6	B	9
	2		9
不明	0	不明	0
計	208	計	208

〔 H10年度集計 〕

原発性肺癌の手術症例（24例）手術率：60.0%

臨床病期（%）		術後病期（%）	
Occult	1例	Occult	1例
	16例（66.7）		12例（50.0）
	2		4
A	5	A	7
B	0	B	0
	0		0
不明	0	不明	0
計	24	計	24

b . 組織型分類

組織型分類	
扁平上皮癌	77例
腺癌	115
大細胞癌	5
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	4
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	208

c . 根治度

根治度分類	（%）
絶対的治癒手術	119例（57.2）
相対的治癒手術	46
相対的非治癒手術	18
絶対的非治癒手術	21
不明	4
計	208

} 165
(79.3%)

〔 H10年度集計 〕

組織型分類	
扁平上皮癌	10例
腺癌	12
大細胞癌	0
小細胞癌	0
腺扁平上皮癌	1
腺様嚢胞癌	1
計	24

根治度分類	（%）
絶対的治癒手術	15例（62.5）
相対的治癒手術	5
相対的非治癒手術	2
絶対的非治癒手術	2
不明	0
計	24

} 20
(83.3%)

④ 新病期分類の手術症例

a . 臨床病期

(全症例 : 383例、 H10年度 : 40例)

	全症例(%)	H10年度(%)
Occult	2例	1例
A	128 (33.4)	11 (27.5)
B	59	6
A	9	1
B	31	5
A	59	7
B	24	3
	51	2
不明	20	4
計	383	40

b . 術後病理病期

(全手術症例 : 208例、 H10年度 : 24例)

	全手術症例(%)	H10年度(%)
Occult	2例	1例
A	89 (42.8)	5 (20.8)
B	43	7
A	8	3
B	14	3
A	34	5
B	9	0
	9	0
不明	0	0
計	208	24

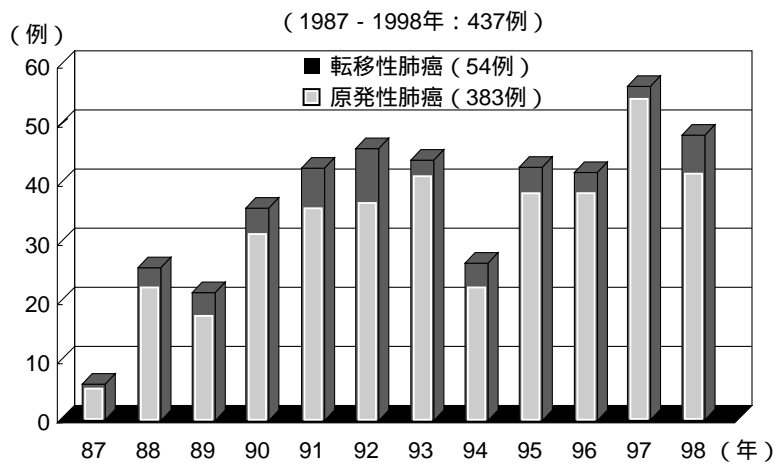
⑤ 腫瘍径 (H10年度集計)

腫瘍径(mm)	全症例(%)	手術症例(%)
0 ~ 10	1例	1例
11 ~ 20	9 (22.5)	7 (29.2)
21 ~ 30	6	3
31 ~ 40	6	3
41 ~ 50	7	5
51 ~	7	4
不明	4	1
計	40	24
平均	37.1mm	34.5mm

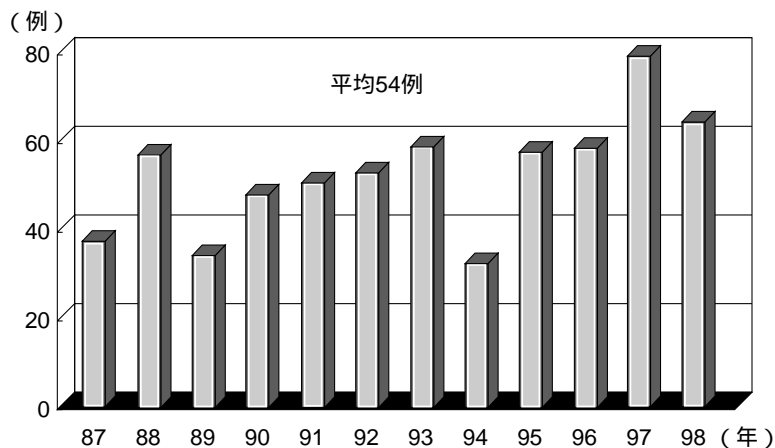
5) 転移性肺癌 (54例)

大腸癌 : 16例、乳 癌 : 5 例、腎臓癌 : 6 例、甲状腺癌 : 6 例、胆のう癌 : 3 例、卵巣癌 : 2 例、胃 癌 : 2 例、肝臓癌 : 2 例、前立腺癌 : 2 例、咽頭癌 : 1 例、肛門癌 : 1 例、食道癌 : 1 例、子宮癌 : 1 例、尿管癌 : 1 例、顎下腺 : 1 例、子宮肉腫 : 1 例、肺 癌 : 1 例、胸腺癌 : 1 例、不明 : 1 例

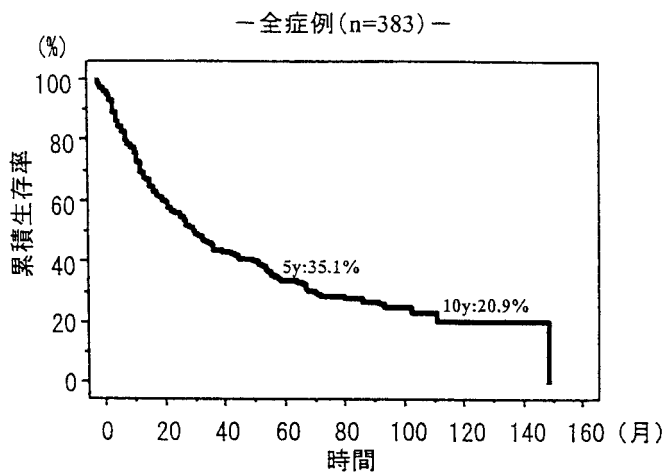
6) 検診発見肺癌の推移



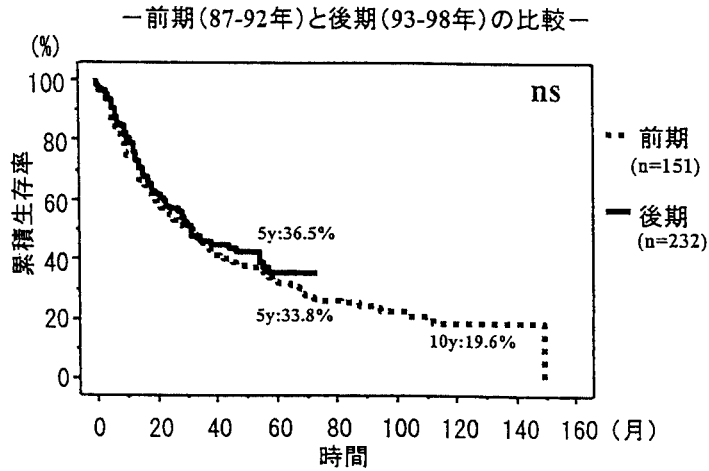
7) 原発性肺癌の発見率 (対人口10万)



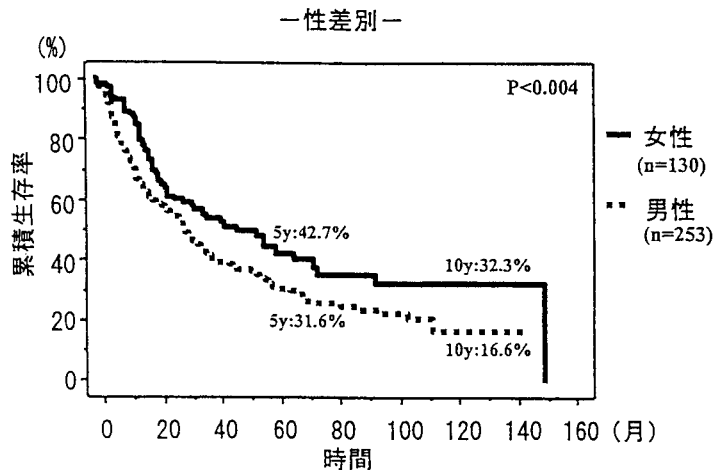
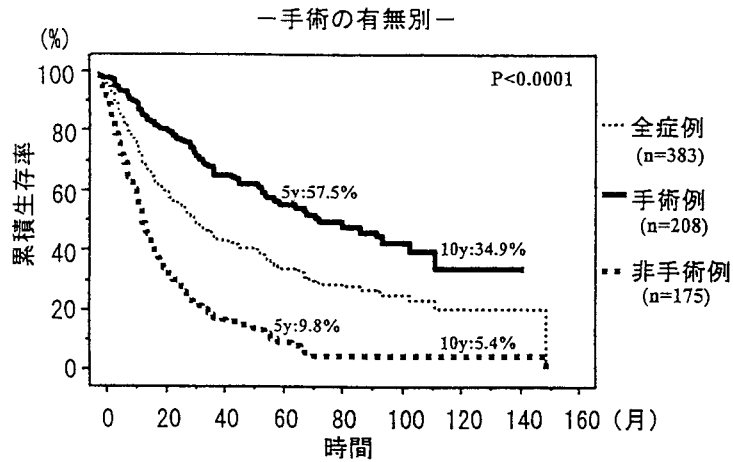
8) 検診発見肺癌の予後

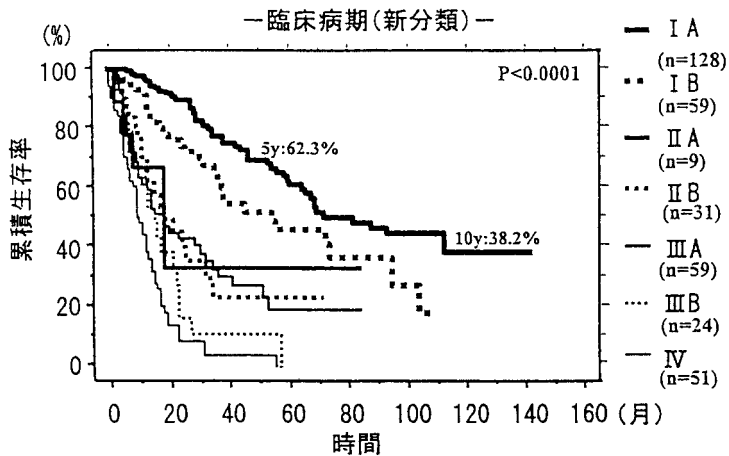
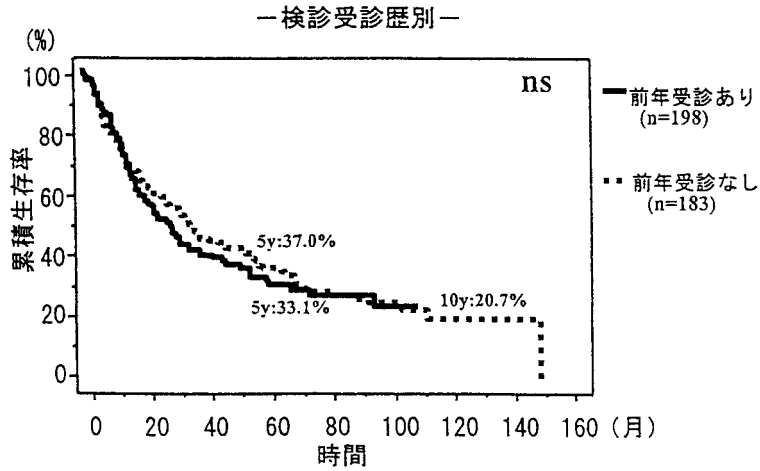
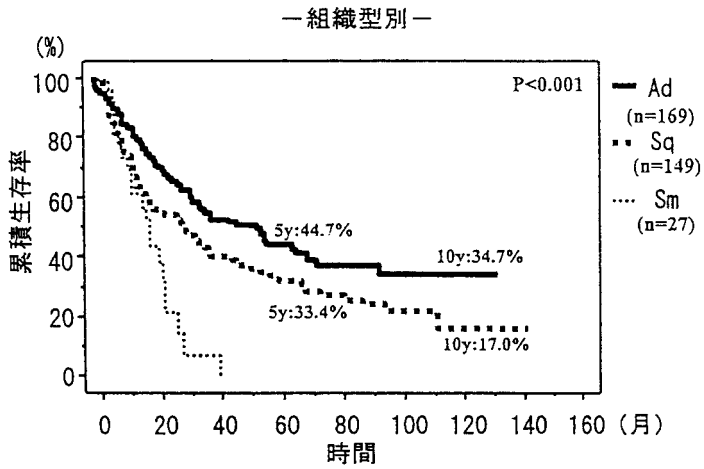


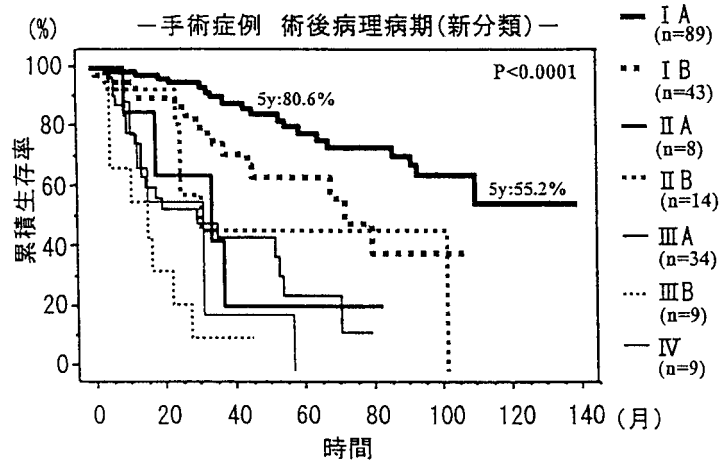
9) 検診発見肺癌の予後



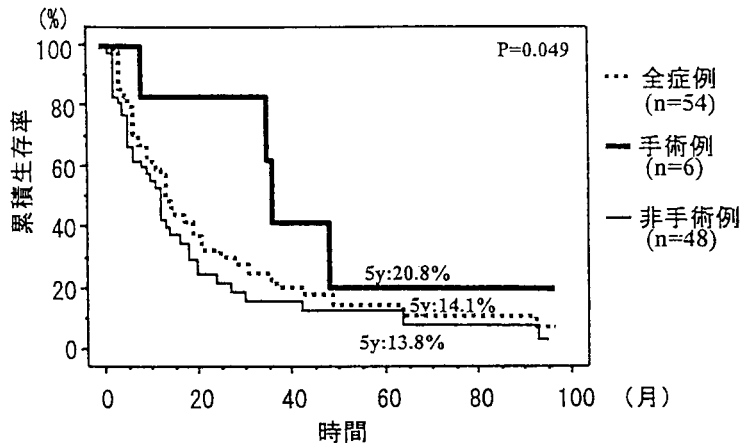
10) 検診発見肺癌の予後







11) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4 . 乳 が ん 検 診

1 . 乳がん検診実績

平成10年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は127,118人で、このうち受診者数は30,086人（出張検診：14,368人、施設検診：15,718人）で受診率は23.7%であった。

がん検診の全国的な傾向であるが、平成5年度のピークより受診者数約5,500人、受診率約1.5ポイントの減少である。

要精検者数は610人（出張検診：100人、施設検診：510人）、要精検率は2.03%で前年度より0.43ポイント減少した。

要精検率の全国平均4.3%に比べ、鳥取県はかなり低い結果であった。

このうち、精密検査を受診したのは498人、精検受診率は81.6%で、全国平均79.3%に比べては高いが、前年度と比べて6.6ポイント減少した。精検結果は乳がんが29人発見され、発見率0.10%であった。

年代別にみると、受診率は60～64歳、要精検率は45～49歳、がん発見率は55～59歳がそれぞれ高かった。

2 . 乳がん検診発見乳がん追跡調査結果

平成10年度に発見された乳がん又は乳がん疑い29例について追跡調査を行った結果、確定乳がんは28例で、病期別みると、TNM分類はⅠとⅡで約86%を占め、tnm分類ではⅠが66%を占め、例年と同様な傾向であった。

また、術式別分類では、乳房温存手術が57.1%で次第に増加しており、ほぼ全国並となった。初回検診発見例が12例（43%）と多かった（平成9年度は22%）。組織型分類では浸潤癌が26例、非浸潤癌が4例であった。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度
一次検診	対 象 者 数(人)	141,166	136,882	130,508	135,195	130,112	127,118
	受 診 者 数(人)	35,575	33,785	32,789	32,073	32,131	30,086
	受 診 率 (%)	25.2	24.7	25.1	23.7	24.7	23.7
一次検診 結 果	異 常 認 め ず(人)	34,579	32,759	31,776	31,255	31,340	29,476
	要 精 検 者 数(人)	996	1,026	1,013	818	791	610
	要精検者の割合 (%)	2.80	3.04	3.09	2.55	2.46	2.03
精密検査	受 診 者 数(人)	870	899	902	723	698	498
	受 診 率 (%)	87.3	87.6	89.0	88.4	88.2	81.6
精密検査 結 果	乳がん又はがん の疑いのある者(人)	27	33	30	30	16	29
	乳がん発見率 (%)	0.08	0.10	0.09	0.09	0.05	0.10

(2) 平成10年度乳がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)	一 次 検 診 結 果		要精検率 (%)
		要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	1,048	33	1,015	3.15
35 ~ 39	1,913	53	1,860	2.77
40 ~ 44	2,464	86	2,378	3.49
45 ~ 49	2,993	110	2,883	3.68
50 ~ 54	3,393	94	3,299	2.77
55 ~ 59	3,617	67	3,550	1.85
60 ~ 64	4,786	64	4,722	1.34
65 ~ 69	4,767	49	4,718	1.03
70歳以上	5,105	54	5,051	1.06
計	30,086	610	29,476	2.03

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	28	84.8	6	22	0	0	0.00
35 ~ 39	43	81.1	7	32	1	3	0.21
40 ~ 44	73	84.9	16	55	0	2	0.08
45 ~ 49	97	88.2	14	79	0	4	0.13
50 ~ 54	72	76.6	21	49	0	2	0.06
55 ~ 59	53	79.1	18	29	0	6	0.17
60 ~ 64	49	76.6	18	27	0	4	0.08
65 ~ 69	44	89.8	19	21	0	4	0.08
70歳以上	39	72.2	16	20	0	3	0.06
計	498	81.6	135	334	1	28	0.10

3) 検診機関別

① 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
医師雇上	4,720	70	4,650	1.48
保健事業団	9,648	30	9,618	0.31
病 院	6,603	334	6,269	5.06
診 療 所	9,115	176	8,939	1.93
計	30,086	610	29,476	2.03

② 精密検査結果

一 次 検 診 機 関	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医師雇上	61	87.1	17	36	0	8	0.17
保健事業団	24	80.0	9	13	1	1	0.02
病 院	272	81.4	68	197	0	7	0.11
診 療 所	141	80.1	41	88	0	12	0.13
計	498	81.6	135	334	1	28	0.10

4) 平成10年度乳がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果別人員							
	対象者数 A	出張検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	出張検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診率 (%) J	異常認めず L	その他の 疾患 M	がん疑い N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	29,700	678	3,502	4,180	14.1	26	129	155	3.7	118	42	65	0	11	76	0.263
米子市	28,930		5,474	5,474	18.9		129	129	2.4	113	11	95	0	7	102	0.128
倉吉市	6,020	273	767	1,040	17.3	0	33	33	3.2	33	20	13	0	0	13	0.000
境港市	8,098		1,288	1,288	15.9		18	18	1.4	18	2	16	0	0	16	0.000
国府町	1,139	541	60	601	52.8	1	2	3	0.5	2	2	0	0	0	0	0.000
岩美町	2,818	915		915	32.5	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
福部村	891	90	140	230	25.8	0	1	1	0.4	0	0	0	0	0	0	0.000
郡家町	1,403	613	72	685	48.8	8	6	14	2.0	12	2	9	0	1	10	0.146
船岡町	1,024	458		458	44.7	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
河原町	2,470	325	174	499	20.2	0	7	7	1.4	6	3	2	0	1	3	0.200
八東町	1,628	496		496	30.5	2	0	2	0.4	2	6	1	0	0	1	0.000
若桜町	1,510	505		505	33.4	10	8	10	2.0	9	6	2	0	1	3	0.198
用瀬町	370	141	150	291	78.6	0	8	8	2.8	5	0	5	0	0	5	0.000
佐治村	812	260	106	366	45.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.000
智頭町	3,741	5	760	765	20.4	0	38	38	5.0	24	5	19	0	0	19	0.000
気高町	826	126	403	529	64.0	0	7	7	1.3	7	5	1	0	1	2	0.189
鹿野町	946	142	137	279	29.5	10	7	17	6.1	14	4	9	0	1	10	0.358
青谷町	564	233	50	283	50.2	1	0	1	0.4	1	0	1	0	0	1	0.000
羽合町	1,301	157	263	420	32.3	1	14	15	3.6	12	6	6	0	0	6	0.000
東郷町	1,578	285	122	407	25.8	0	4	4	1.0	2	2	0	0	0	0	0.000
三朝町	1,523	435		435	28.6	4	4	4	0.9	4	0	3	0	1	4	0.230
関金町	905	391		391	43.2	1	1	1	0.3	1	0	1	0	0	1	0.000
北奈町	1,100	69	474	543	49.4	1	12	13	2.4	4	0	2	0	1	3	0.184
大栄町	1,880	1,263		1,263	67.2	7	0	7	0.6	5	1	3	1	0	4	0.079
赤伯町	3,396	772	132	904	26.6	6	0	6	0.7	5	2	3	0	1	4	0.111
赤碓町	2,198	711		711	32.3	3	3	3	0.4	3	2	1	0	0	1	0.000
西伯町	2,290		441	441	19.3	9	0	9	2.0	7	4	3	0	0	3	0.000
余見町	1,034	283	14	297	28.7	0	2	2	0.7	2	0	2	0	0	2	0.000
岸本町	2,365	568	81	649	27.4	0	7	7	1.1	4	0	4	0	0	4	0.000
日吉津村	525	254	21	275	52.4	8	0	8	2.9	8	0	8	0	0	8	0.000
淀江町	3,314	547		547	16.5	49	49	49	9.0	45	7	37	0	1	38	0.183
大山町	791	476	24	500	63.2	1	3	4	0.8	4	0	4	0	0	4	0.000
名和町	1,456	145	359	504	34.6	1	18	19	3.8	14	1	12	0	1	13	0.198
中山町	1,068	284	39	323	30.2	1	0	1	0.3	1	0	1	0	0	1	0.000
日南町	2,589	804		804	31.1	4	4	4	0.5	4	3	1	0	0	1	0.000
日野町	1,692	555		555	32.8	2	2	2	0.4	2	1	1	0	0	1	0.000
江府町	1,624	291	44	335	20.6	0	5	5	1.5	5	1	4	0	0	4	0.000
溝口町	1,044	639		639	61.2	2	2	2	0.3	2	2	0	0	0	4	0.000
合計	127,118	14,368	15,718	30,086	23.7	100	510	610	2.0	498	135	334	1	28	363	0.096

(3) 平成10年度乳がん検診発見乳がん患者追跡調査結果

1) 登録届出数 28例 (平成9年度 16例)

確定乳癌 28例 29病変

鳥取市	11	気高町	1	東伯町	1
郡家町	1	鹿野町	1	米子市	7
河原町	1	三朝町	1	淀江町	1
若桜町	1	北条町	1	名和町	1

2) 病期分類

TNM分類	
0	1 14 (48%) 11 (38%)
a	3
b	0 0
計	29

tnm分類	
	19 (66%) 6 4
計	29

3) 手術術式

乳房切除術12 (42.9%)		
1) 拡大乳房切除術	0	
2) 胸筋合併乳房切除術	0	
3) 胸筋温存乳房切除術	12	(Bt + Ax 6 . Bt + Ax + Ic 6 .)
乳房温存手術16 (57.1%)		
1) 乳房扇状部分切除術	3	(Bq + Ax)
2) 乳房円状部分切除術	13	(Bp + Ax 5 . Bp + Ax + Ic 6 . Bp 2 .)

4) 組織型

非浸潤癌	乳管癌 3	小葉癌 1
浸潤癌	25	
a 浸潤性乳管癌	22	b 特殊型 3
a1 乳頭腺管癌	3	b1 粘液癌 2
a2 充実腺管癌	5	b7 アポクリン癌 1
a3 硬癌	14	

5) 検診から精検および手術までの間隔

間隔(日)	検診から精検	精検から手術	検診から手術
~ 7	20例	1例	0例
8 ~ 14	3	11	4
15 ~ 21	2	9	8
22 ~ 28	1	2	6
29 ~ 35		3	5
36 ~ 42	1		3
43 ~ 49			1
50 ~ 56		1	1
57 ~			
?	1	1	

6) 検診歴と病期

検診歴と病期			tnm分類			不明	
初回検診	12		8	2	2		
繰返し検診	16	1年	12	8	2	1	1
		2年	2	1	1		
		3年以上	2		1	1	

7) 年齢構成

年 齢	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~
例 数	3	2	4	2	6	4	4	3
(初回)	(2)		(3)		(3)	(1)	(1)	(2)
tnm	1	1	4		3	4	3	2
	1	1		1		1	1	1
	1			1	2			
?					1			

集団検診発見 8

施設検診発見 20

8) まとめ

- 1 平成10年度の検診発見乳癌は28例(29病変)、発見率は0.096%であった。東部地区が16例0.144%と高かった。
- 2 病期分類は例年と差がない。
- 3 手術術式では、乳房温存術が57.1%次第に増加しており、ほぼ全国並みとなった。(昨年 41.7%、一昨年 28.6%)
- 4 組織型では、非浸潤癌が4例と多かった。
- 5 検診から精検までの期間は82%が2週以内であり、64%が4週以内に手術を受けていた。
- 6 初回検診発見ではStage が66.7%で、進行癌が多いとはいえなかった。
- 7 初回検診発見例が12例(43%)と多かった。(昨年22%)

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成10年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は182,629人で、このうち受診者数は49,302人（地域検診：26,477人、施設検診：22,825人）で、受診率は27.0%であった。平成9年度より受診者数は655人減少したが、受診率は0.1ポイント増加した。平成4年度事業開始より、受診者数は増加していたが、今回初めて前年度より減少した。

要精検者数は4,690人（地域検診：2,102人、施設検診：2,588人）要精検率は9.5%で、前年度より0.2ポイント減少している。

このうち、精密検査を受診したのは、3,013人、精検受診率は64.2%で前年度より2.8ポイントも減少した。

精検結果は、大腸がん154人、大腸がん疑い5人の合計159人が発見され、がん発見率は0.32%で前年度より0.03ポイント減少した。

要精検率は集団検診より施設検診の方が高いが、施設検診の精検受診率は集団検診より約10%も低かった。また、施設検診からの発見がん数も前年度に比べ大幅に減少しており、精検受診率が低いことが影響しているのではないかと懸念される。

2. 大腸がん検診発見大腸がん追跡調査結果

平成10年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い163例（地域検診：84例、施設検診：75例、職域検診：4例）について追跡調査を行った。

163例のうち、地域検診81例、施設検診66例、職域検診4例の合計151例が確定大腸がん、そのうちの早期がんは109例であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で63.0%を占め、処置としては、外科手術60例、内視鏡的治療89例であった。平成10年度に初めて内視鏡治療が外科手術を上まわった。

地区別に比較すると、東部地区では外科手術が多く実施され、西部地区は内視鏡的治療が多かった。また、医療機関での内視鏡治療がふえている。

Dukes分類はAが81.5%、組織型分類はWellが76.2%であった。

深達度分類では、早期がんの「m」「sm」が72.2%を占め、特に西部が76.5%と早期発見癌率が高かった。

逐年受診発見進行癌は17例あり、11例は前年度便潜血陰性、4例は精検未受診であった。

便潜血検査陽性で精検を受診したが、異常なしとされたものが1例、再度便潜血を行って2回とも陰性だったものが1例であった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度
一次検診	対象者数(人)	191,564	186,071	188,417	193,294	185,761	182,629
	受診者数(人)	34,355	40,358	44,494	48,538	49,957	49,302
	受診率(%)	17.9	21.7	23.6	25.1	26.9	27.0
一次検診結果	異常認めず(人)	31,720	36,581	39,983	44,003	45,127	44,612
	要精検者数(人)	2,635	3,777	4,511	4,535	4,830	4,690
	要精検者の割合(%)	7.7	9.4	10.1	9.3	9.7	9.5
精密検査	受診者数(人)	1,807	2,450	3,134	3,049	3,234	3,013
	受診率(%)	68.6	64.9	69.5	67.2	67.0	64.2
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	115	115	148	169	173	159
	大腸がん発見率(%)	0.33	0.28	0.33	0.35	0.35	0.32

(2) 平成10年度大腸がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	949	1,537	87	90	862	1,447	9.2	5.9
45 ~ 49	1,251	2,090	105	130	1,146	1,960	8.4	6.2
50 ~ 54	1,369	2,898	142	191	1,227	2,707	10.4	6.6
55 ~ 59	1,278	3,547	146	239	1,132	3,308	11.4	6.7
60 ~ 64	2,586	5,494	290	409	2,296	5,085	11.2	7.4
65 ~ 69	3,804	6,347	484	480	3,320	5,867	12.7	7.6
70 ~ 74	3,533	5,156	429	470	3,104	4,686	12.1	9.1
75 ~ 79	1,906	2,984	295	307	1,611	2,677	15.5	10.3
80歳以上	1,144	1,429	195	201	949	1,228	17.0	14.1
計	17,820	31,482	2,173	2,517	15,647	28,965	12.2	8.0
合 計	49,302		4,690		44,612		9.5	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数 (人)		精密検査受診率 (%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	39	55	44.8	61.1
45 ~ 49	61	84	58.1	64.6
50 ~ 54	70	135	49.3	70.7
55 ~ 59	91	155	62.3	64.9
60 ~ 64	177	302	61.0	73.8
65 ~ 69	321	351	66.3	73.1
70 ~ 74	278	304	64.8	64.7
75 ~ 79	199	197	67.5	64.2
80歳以上	102	92	52.3	45.8
計	1,338	1,675	61.6	66.5
合 計	3,013		64.2	

年 齢	精 密 検 査 結 果								大腸がん 発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	26	39	13	15	0	0	0	1	0.00	0.07
45 ~ 49	39	46	21	37	0	0	1	1	0.08	0.05
50 ~ 54	28	78	39	54	1	0	2	3	0.22	0.10
55 ~ 59	31	78	55	70	0	0	5	7	0.39	0.20
60 ~ 64	59	162	103	129	0	2	15	9	0.58	0.20
65 ~ 69	102	194	195	138	0	0	24	19	0.63	0.30
70 ~ 74	92	143	159	151	0	1	27	9	0.76	0.19
75 ~ 79	60	105	129	81	1	0	9	11	0.52	0.37
80歳以上	33	43	62	45	0	0	7	4	0.61	0.28
計	470	888	776	720	2	3	90	64	0.52	0.21
合 計	1,358		1,496		5		154		0.32	

3) 検診機関別

① 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	9,642	15,815	985	1,043	8,657	14,772	10.2	6.6
ファルコ	289	480	44	16	245	464	15.2	3.3
中国労働衛生協会	174	77	12	2	162	75	6.9	2.6
病 院	1,987	3,543	213	259	1,774	3,284	10.7	7.3
診 療 所	5,728	11,567	919	1,197	4,809	10,370	16.0	10.3
計	17,820	31,482	2,173	2,517	15,647	28,965	12.2	8.0
合 計	49,302		4,690		44,612		9.5	

② 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
保健事業団	641	769	65.1	73.7
ファルコ	38	14	86.4	87.5
中国労働衛生協会	5	2	41.7	100.0
病 院	127	155	59.6	59.8
診 療 所	527	735	57.3	61.4
計	1,338	1,675	61.6	66.5
合 計	3,013		64.2	

一次検診機関	精 密 検 査 結 果								大腸がん 発見率(%)	
	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	235	408	358	329	0	2	48	30	0.50	0.20
ファルコ	10	9	26	4	0	0	2	1	0.69	0.21
中国労働衛生協会	3	1	1	1	0	0	1	0	0.57	0.00
病 院	42	82	73	67	1	0	11	6	0.60	0.17
診 療 所	180	388	318	319	1	1	28	27	0.51	0.24
計	470	888	776	720	2	3	90	64	0.52	0.21
合 計	1,358		1,496		5		154		0.32	

4) 平成10年度大腸がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		人員								
	A	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J	K=J/H	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D	
鳥取市	37,700	938	6,725	7,663	20.3	68	695	763	10.0	441	57.8	240	1	28	269	0.378	
米子市	39,095		8,702	8,702	22.3		1,095	1,095	12.6	626	57.2	288	313	0	25	338	0.287
倉吉市	11,834	998	554	1,552	13.1	69	63	132	8.5	94	71.2	40	50	4	54	0.258	
境港市	11,111		1,972	1,972	17.7		190	190	9.6	139	73.2	50	83	6	89	0.304	
南府町	1,922	1,002	92	1,094	56.9	71	6	77	7.0	61	79.2	28	31	2	33	0.183	
岩美町	3,628	1,314	171	1,485	40.9	118	6	124	8.4	70	56.5	30	37	3	40	0.202	
福部村	1,241	232	206	438	35.3	20	7	27	6.2	15	55.6	12	2	0	3	0.228	
郡家町	2,166	1,489	134	1,623	74.9	127	10	137	8.4	90	65.7	33	52	5	57	0.308	
船岡町	1,547	629	21	650	42.0	47	3	50	7.7	31	62.0	10	19	2	21	0.308	
河原町	3,931	731	220	951	24.2	63	15	78	8.2	43	55.1	26	15	1	17	0.210	
八東町	2,214	1,045	1,045	47.2	70	76	70	70	6.7	53	75.7	25	26	2	28	0.191	
若桜町	2,590	615	704	1,319	50.9	47	76	123	9.3	63	51.2	35	23	1	4	0.379	
用瀬町	619	568	15	583	94.2	33	1	34	5.8	21	61.8	5	15	0	1	0.172	
佐治村	1,346	391	182	573	42.6	30	16	46	8.0	31	67.4	18	13	0	13	0.000	
智頭町	5,608	1,061	100	1,161	20.7	74	14	88	7.6	52	59.1	17	31	0	35	0.345	
気高町	1,202	874	928	77.2	3	67	70	70	7.5	48	68.6	30	17	0	1	0.108	
鹿野町	1,507	21	558	579	38.4	3	58	61	10.5	29	47.5	14	13	0	15	0.345	
書谷町	1,320	949	144	1,093	82.8	64	13	77	7.0	55	71.4	26	26	3	29	0.274	
羽合町	1,873	432	38	470	25.1	51	3	54	11.5	44	81.5	13	30	0	31	0.213	
東郷町	2,382	553	7	560	23.5	63	1	64	11.4	39	60.9	20	17	0	2	0.357	
三朝町	2,722	809		809	29.7	73		73	9.0	52	71.2	32	20	0	20	0.000	
関金町	1,286	562		562	43.7	49		49	8.7	32	65.3	18	14	0	14	0.000	
北奈町	2,074	534	176	710	34.2	44	29	73	10.3	45	61.6	21	20	4	24	0.563	
大栄町	3,225	1,797		1,797	55.7	138		138	7.7	101	73.2	47	50	0	54	0.223	
赤伯町	4,872	1,222		1,222	25.1	106		106	8.7	84	79.2	48	32	0	36	0.327	
東伯町	3,055	712		712	23.3	66		66	9.3	56	84.8	25	27	0	31	0.562	
西伯町	2,970	648		648	21.8		123	123	19.0	81	65.9	51	23	1	6	0.1080	
余見町	1,692	345		345	20.4	29		29	8.4	20	69.0	10	6	0	10	1.159	
岸本町	3,090	588		588	19.0	50		50	8.5	32	64.0	18	14	0	14	0.000	
日吉津村	809	407	117	524	64.8	25	18	43	8.2	34	79.1	18	16	0	16	0.000	
淀江町	5,137	770	126	896	17.4	60	29	89	9.9	78	87.6	37	38	0	41	0.335	
大山町	914	584	45	629	68.8	52	6	58	9.2	38	65.5	18	19	0	1	0.159	
名和町	2,517	1,344		1,344	53.4	77		77	5.7	41	53.2	12	28	0	1	0.074	
中山町	1,511	546	117	663	43.9	33	9	42	6.3	35	83.3	19	15	0	1	0.151	
日南町	4,894	731		731	14.9	64		64	8.8	47	73.4	20	18	0	9	1.231	
日野町	2,131	805		805	37.8	62		62	7.7	50	80.6	31	12	0	7	0.870	
江府町	2,402	602		602	25.1	48		48	8.0	40	83.3	13	22	0	5	0.831	
溝口町	1,704	862		862	50.6	83		83	9.6	65	78.3	17	44	0	4	0.464	
合計	182,629	26,477	22,825	49,302	27.0	2,102	2,588	4,690	9.5	3,013	64.2	1,358	1,496	5	154	1,655	0.323

(3) 平成10年度大腸がん検診発見大腸がん患者追跡調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地域検診				施設検診				職域検診	総計(%)
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
報告癌	30	19	35	84	32	5	38	75	4	163
確定癌	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151
腺腫	2	0	0	2	2	1	3	6	0	8
その他	1	0	0	1	1	0	2	3	0	4

表2 性及び年齢

年齢	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	計	
(A) 地域検診	男	0	1	1	3	9	16	13	5	2	50
	女	1	1	0	6	3	9	7	3	1	31
	計	1	2	1	9	12	25	20	8	3	81
(B) 施設検診	男	0	0	1	1	6	7	12	5	4	36
	女	0	0	3	1	5	10	5	4	2	30
	計	0	0	4	2	11	17	17	9	6	66
(C) 職域検診	男	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4
総計	男	0	2	2	6	15	23	25	10	6	89
	女	1	1	4	7	8	19	12	7	3	62
	計	1	3	6	13	23	42	37	17	9	151

表3 部 位

部 位	地 域 検 診				施 設 検 診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
P	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1(0.7)
R	11	4	8	23	12	1	5	18	0	41(27.2)
S	9	5	15	29	9	0	13	22	3	54(35.8)
D	1	1	2	4	3	0	0	3	0	7(4.6)
T	3	3	3	9	2	1	7	10	0	19(12.6)
A	1	5	4	10	2	1	5	8	1	19(12.6)
C	1	1	3	5	0	1	2	3	0	8(5.3)
不 明	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2(1.3)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表4 大きさ

大きさ(mm)	地 域 検 診				施 設 検 診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
0 ~ 10	4	3	7	14	6	1	13	20	0	34(22.5)
11 ~ 20	8	6	6	20	4	0	9	13	1	34(22.5)
21 ~ 50	10	3	6	19	12	1	4	17	2	38(25.2)
51 ~	2	1	0	3	2	0	3	5	0	8(5.3)
不 明	3	6	16	25	5	2	4	11	1	37(24.5)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表5 肉眼分類

肉眼分類 a	0 型	1 型	2 型	3 型	4 型	5 型	不明	計
	109	7	32	2	0	0	1	151

42

0 型の肉眼分類

肉眼分類 b	p	sp	s	a	a + c	c	その他	不明	計
	26	29	11	29	5	2	1	6	109

表6 深達度分類

深 達 度	地 域 検 診				施 設 検 診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
m	14	11	25	50	14	1	25	40	4	94(62.3)
sm	3	3	1	7	6	1	1	8	0	15(9.9)
小 計	17	14	26	57	20	2	26	48	4	109(72.2)
mp	3	2	4	9	2	1	2	5	0	14(9.3)
ss	6	0	0	6	6	1	3	10	0	16(10.6)
se	1	1	1	3	1	0	2	3	0	6(4.0)
si	0	0	4	4	0	0	0	0	0	4(2.6)
不 明	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2(1.3)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表7 Dukes分類

Dukes分類	地域 検診				施設 検診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
A	22	16	30	68	20	3	28	51	4	123(81.5)
B	2	0	0	2	5	0	2	7	0	9(6.0)
C	2	2	5	9	4	0	3	7	0	16(10.6)
D	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2(1.3)
不 明	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1(0.7)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表8 組織型分類

組 織 型	地域 検診				施設 検診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
Well	17	14	27	58	23	3	27	53	4	115(76.2)
Mod	9	1	6	16	6	1	4	11	0	27(17.9)
Poor	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1(0.7)
Muci	1	0	0	1	0	0	1	1	0	2(1.3)
Signet	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
Squa	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
Pap	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1(0.7)
不 明	0	3	1	4	0	0	1	1	0	5(3.3)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表9 治療方法

治療方法	地域検診				施設検診				職域検診	総計(%)
	東 部	中 部	西 部	小計	東 部	中 部	西 部	小計		
外科手術	14	7	10	31	17	3	9	29	0	60(39.7)
内視鏡的治療	13	10	25	48	12	1	24	37	4	89(59.0)
そ の 他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2(1.3)
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
計	27	19	35	81	29	4	33	66	4	151(100.0)

表10 平成10年度逐年検診発見進行大腸癌

症 例			病 巣					便 潜 血		前年の精検結果	地区	
年齢	性	部位	大きさ	深達度	肉眼型	組織型	前年	当年				
1	50	m	S	78	se	2	well	- +	++	未受診	東	地 域 検 診
2	62	m	R	20	mp	2	mod	- -	- +		東	
3	65	m	T	42	ss	1	muci	- -	++		東	
4	64	f	R	28	mp	2	mod	- -	++		東	
5	69	m	S	16	mp	1	mod	- -	+ -		東	
6	59	m	R	35	ss	2	mod	++	++	未受診	東	
7	60	f	A	35	ss	2	mod	- -	++		東	
8	78	f	C	27	mp	3	mod	- -	- +		西	
9	72	m	S	15	mp	1	well	++	- +	異常なし	西	
10	63	f	C	35	mp	1	well	++	+ -	便潜再検 -	西	
11	67	f	C	50	si	2	well	- -	++		西	施 設 検 診
12	78	f	R	13	ss	2	well	- -	- +		東	
13	65	f	S	39	ss	2	well	++	++	未受診	東	
14	61	f	S	27	ss	2	well	++	++	未受診	東	
15	67	m	C	35	mp	2	well	- -	++		中	
16	63	f	S	14	mp	1	well	- -	+ -		西	
17	85	f	C	110	ss	3	不明	- -	++		西	

6 . 肝 臓 が ん 検 診

1 . 肝臓がん検診実績

平成10年度は20町村で実施し、対象者数（基本健康診査の対象者数）は30,054人で、このうち受診者数は3,134人で受診率は10.4%であった。

一次検診の結果、要指導者は237人（7.6%）、要精検者は375人（12.0%）であった。

このうち、精密検査を受診したのは186人、精検受診率49.6%であった。また、精検受診者186人のうち、HBs抗原陽性者は85人、HCV抗体陽性者は89人であった。

この結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は0人であった。

平成7年度～平成10年度の4年間を集計すると、受診者数は59,130人で、そのうちHBs抗原陽性者は1,580人（2.67%）、HCV抗体陽性者は2,801人（4.74%）であった。HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40～59歳が高い傾向は例年と同様であった。

2 . 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査結果

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査を平成10年度より行うことになり、21市町村で実施された。

健康指導対象者はB型肝炎ウイルス陽性者が509人、C型肝炎ウイルス陽性者が542人で、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が216人、C型肝炎ウイルス陽性者が250人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が40人（受診者数の18.5%）、C型肝炎ウイルス陽性者が90人（受診者数の36.0%）であった。また、肝硬変と診断された人はB型肝炎ウイルス陽性者が2人（受診者数の0.9%）、C型肝炎ウイルス陽性者が7人（受診者数の2.8%）であった。

肝臓がん疑いまたは肝臓がんとして診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が2人（受診者数の0.9%）、C型肝炎ウイルス陽性者が9人（受診者数の3.6%）であった。

3 . 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

(1) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の結果、がん及びがん疑いの者が11名発見された。確定調査を行った結果、確定がんが8例であった。ただし、確定がんのうち1例は、平成8年度肝臓がん検診で既にごんと診断された症例であった。

(2) 平成7年、8年、9年度肝臓がん検診発見がん患者39例（平成7年：9例、平成8年：21例、平成9年：9例）について、その後の状況について調査を行った。

14例が確定癌で、そのうち死亡した者が8例、がんが再発した者が4例、再発なく生存しているものが2例であった。

(1) 平成10年度肝臓がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)		一 次 検 診 結 果						要精検率(%)	
			要 指 導 者 数		要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	(2) 105	(4) 204	(0) 15	(0) 5	(0) 15	(0) 7	(2) 75	(4) 192	14.3	3.4
45~49	(1) 96	(3) 166	(1) 20	(0) 7	(0) 20	(1) 16	(0) 56	(2) 143	20.8	9.6
50~54	(1) 114	(3) 218	(0) 18	(0) 10	(1) 22	(0) 19	(0) 74	(3) 189	19.3	8.7
55~59	(2) 106	(2) 212	(0) 18	(0) 20	(0) 17	(0) 19	(2) 71	(2) 173	16.0	9.0
60~64	(3) 262	(3) 374	(0) 36	(0) 20	(0) 50	(0) 46	(3) 176	(3) 308	19.1	12.3
65~69	(0) 263	(1) 344	(0) 28	(0) 16	(0) 44	(0) 29	(0) 191	(1) 299	16.7	8.4
70~74	(3) 162	(3) 194	(0) 10	(0) 6	(0) 32	(1) 16	(3) 120	(2) 172	19.8	8.2
75~79	(1) 94	(2) 119	(0) 5	(1) 1	(0) 8	(0) 6	(1) 81	(1) 112	8.5	5.0
80歳以上	(1) 46	(0) 55	(0) 2	(0) 0	(1) 7	(0) 2	(0) 37	(0) 53	15.2	3.6
計	(14) 1,248	(21) 1,886	(1) 152	(1) 85	(2) 215	(2) 160	(11) 881	(18) 1,641	17.2	8.5
合 計	(35) 3,134		(2) 237		(4) 375		(29) 2,522		12.0	

() 内は、ウイルス検査のみした人の再掲

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	(0) [1] 5	(1) [2] 5	33.3	71.4
45 ~ 49	(0) [2] 9	(7) [3] 10	45.0	62.5
50 ~ 54	(2) [1] 9	(10) [6] 15	40.9	78.9
55 ~ 59	(3) [0] 8	(5) [4] 12	47.1	63.2
60 ~ 64	(3) [4] 20	(7) [11] 28	40.0	60.9
65 ~ 69	(3) [3] 14	(4) [10] 19	31.8	65.5
70 ~ 74	(3) [3] 15	(3) [5] 8	46.9	50.0
75 ~ 79	(0) [1] 3	(0) [1] 3	37.5	50.0
80歳以上	(0) [1] 2	(0) [1] 1	28.6	50.0
計	(14) [16] 85	(37) [43] 101	39.5	63.1
合 計	(51) [59] 186		49.6	

()内はHBs抗原陽性者で再掲

[]内はHCV抗体陽性者で再掲

年 齢	精 密 検 査 結 果																				
	異常なし		その他の疾病				その他の疾病				肝臓がん		肝臓がん								
	男	女	脂 肪 肝		HBVキャリア・HCVキャリア		慢性肝炎		肝 硬 変		アルコール性肝障害		その他		肝臓がん疑い	肝臓がん		肝臓がん発見率(%)			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女	
40~44	0	1	5	4	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	3	0	6	10	2	0	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	1	2	8	13	1	2	2	6	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	1	2	7	10	0	2	3	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64	4	2	16	26	3	8	4	13	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	2	3	12	16	1	4	3	8	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	3	0	12	8	3	0	5	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	1	1	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	11	70	90	13	17	20	53	8	17	0	1	24	0	5	2	0	0	0	0	0
合 計	26		160		30		73		25		1		24		7		0		0		0

年代別肝炎ウイルス陽性率

(人、%)

年 齢	一次検診受診者数	HBs抗原陽性者	HBs抗原陽性率	HBs抗原陽性者	HBs抗原陽性率	HCV抗体陽性者	HCV抗体陽性率(%)
40~44	309	4	1.3%	3	1.0%		
45~49	262	15	5.7%	6	2.3%		
50~54	332	15	4.5%	8	2.4%		
55~59	318	12	3.8%	7	2.2%		
60~64	636	17	2.7%	22	3.5%		
65~69	607	13	2.1%	23	3.8%		
70~74	356	7	2.0%	13	3.7%		
75~79	213	2	0.9%	3	1.4%		
80歳以上	101	0	0.0%	4	4.0%		
合 計	3,134	85	2.7%	89	2.8%		

3) 平成10年度肝臓がん検診受診状況

市町村	受診者数				要指導者				要精密検査者				検査結果別人員						
	対象者 A	集検 B	団診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	集検 F	団診 G	計 H=F+G	集検 I	団診 J	計 K=I+J	精検 率 (%) L=K/D	精検受 診者 M	精検受 診率 (%) N=M/K	異常 者 総 数 S	がん 疑 が り 者 R	がん 他 の 疾 病 P	がん が ん 疑 が り 者 Q	がん 計 率 (%) T=(Q+R)/D
岩美町	1,899	(0) 203	(0) 122	(0) 325	17.1	(0) 13	(0) 11	(0) 24	(0) 22	(0) 21	(0) 43	13.2	20	46.5	5	15	0	0	15
福部村	1,737	(0) 25	(1) 50	(1) 75	4.3	(0) 2	(0) 14	(0) 16	(0) 4	(0) 11	(0) 15	20.0	6	40.0	0	6	0	0	6
若桜町	92	(0) 92	(0) 0	(0) 92	100.0	(0) 5	(0) 0	(0) 5	(0) 15	(0) 0	(0) 15	16.3	15	100.0	2	13	0	0	13
用瀬町	2,715	(0) 33	(10) 15	(10) 48	1.8	(1) 3	(0) 0	(0) 3	(2) 6	(0) 1	(0) 7	14.6	5	71.4	0	5	0	0	5
佐治町	75	(0) 49	(0) 26	(0) 75	100.0	(0) 2	(0) 0	(0) 2	(0) 8	(0) 2	(0) 10	13.3	9	90.0	3	6	0	0	6
気高町	504	(0) 266	(0) 266	(0) 266	52.8	(0) 0	(0) 21	(0) 21	(0) 13	(0) 13	(0) 13	4.9	8	61.5	2	6	0	0	6
鹿野町	714	(0) 9	(7) 73	(7) 82	11.5	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 2	2.4	1	50.0	0	1	0	0	1
青谷町	904	(0) 256	(0) 76	(0) 332	36.7	(0) 23	(0) 12	(0) 35	(0) 48	(0) 15	(0) 63	19.0	7	11.1	0	7	0	0	7
羽合町	264	(0) 39	(0) 39	(0) 39	14.8	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 4	(0) 4	10.3	1	25.0	0	1	0	0	1
泊村	1,487	(0) 180	(0) 180	(0) 180	12.1	(0) 0	(0) 25	(0) 25	(0) 0	(0) 22	(0) 22	12.2	8	36.4	2	6	0	0	6
北条町	181	(0) 135	(0) 135	(0) 135	74.6	(0) 0	(0) 8	(0) 8	(0) 0	(0) 28	(0) 28	20.7	6	21.4	0	6	0	0	6
大栄町	5,124	(0) 162	(0) 162	(0) 162	3.2	(0) 10	(0) 10	(0) 10	(0) 19	(0) 0	(0) 19	11.7	13	68.4	2	11	0	0	11
西伯町	3,757	(0) 267	(0) 267	(0) 267	7.1	(0) 0	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 10	(0) 10	3.7	6	60.0	0	6	0	0	6
岸本町	965	(11) 142	(11) 142	(11) 142	14.7	(1) 12	(1) 12	(1) 12	(2) 32	(2) 32	(2) 32	22.5	22	68.8	1	21	0	0	21
日吉津村	190	(0) 71	(0) 22	(0) 93	48.9	(0) 8	(0) 2	(0) 10	(0) 9	(0) 3	(0) 12	12.9	10	83.3	2	8	0	0	8
淀江町	2,263	(0) 7	(0) 256	(0) 263	11.6	(0) 1	(0) 23	(0) 24	(0) 3	(0) 18	(0) 21	8.0	11	52.4	3	8	0	0	8
名和町	1,200	(0) 132	(0) 184	(0) 316	26.3	(0) 11	(0) 7	(0) 18	(0) 23	(0) 12	(0) 35	11.1	21	60.0	0	21	0	0	21
日南町	4,070	(4) 51	(4) 51	(4) 51	1.3	(0) 6	(0) 0	(0) 6	(0) 7	(0) 7	(0) 7	13.7	6	85.7	0	6	0	0	6
江府町	1,057	(2) 5	(2) 1	(2) 6	0.6	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0								
溝口町	856	(0) 185	(0) 185	(0) 185	21.6	(0) 17	(0) 0	(0) 17	(0) 17	(0) 0	(0) 17	9.2	11	64.7	4	7	0	0	7
合 計	30,054	(27) 1,422	(8) 1,712	(35) 3,134	10.4	(2) 113	(0) 124	(2) 237	(4) 213	(0) 162	(4) 375	12.0	186	49.6	26	160	0	0	160

*上段()はワイルス検査のみ実施した人の再掲

4) 平成7年～10年度 年代別肝臓がん検診結果

年 齢	一次検診 受診者数(人)		HBs 抗 原 陽 性 者(人)		HBs 抗 原 陽 性 率(%)		HCV 抗 体 陽 性 者(人)		HCV 抗 体 陽 性 率(%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	1,069	2,296	57	76	5.33	3.31	24	30	2.25	1.31
45～49	1,322	3,080	68	132	5.14	4.29	28	79	2.11	2.56
50～54	1,095	3,367	64	145	5.84	4.31	18	118	1.64	3.50
55～59	1,304	4,418	52	143	3.99	3.24	45	195	3.45	4.41
60～64	3,089	7,141	89	161	2.88	2.25	139	388	4.50	5.43
65～69	4,178	7,632	102	156	2.44	2.04	229	416	5.48	5.45
70～74	3,655	6,128	65	113	1.78	1.84	227	356	6.21	5.81
75～79	1,968	3,531	43	59	2.18	1.67	120	191	6.10	5.41
80歳以上	1,445	2,412	15	40	1.04	1.66	90	108	6.23	4.48
計	19,125	40,005	555	1,025	2.90	2.56	920	1,881	4.81	4.70
合 計	59,130		1,580		2.67		2,801		4.74	

(2) 平成7年度から平成9年度肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成10年度B型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年 齢	健康指導対象者 (平成10年4月1日 現在の実人数)		受診者数 (平成11年3月31日 現在の実人数)		定 期 検 査										結 果					
	男	女	男	女	健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		結 果			
	無 症 候 性 HBsキャリア	無 症 候 性 HBsキャリア	無 症 候 性 HBsキャリア	無 症 候 性 HBsキャリア	脂 肪 肝	脂 肪 肝	慢性肝炎	慢性肝炎	肝 硬 変	肝 硬 変	肝臓がん疑い	肝臓がん疑い	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	
40 ~ 44	21	24	4	6	1	4	1	3	1											
45 ~ 49	24	35	6	10	5	8	1	1	1		1									
50 ~ 54	28	50	4	15	3	8	1	5												1
55 ~ 59	26	45	11	25	7	17	2	3	1	3										2
60 ~ 64	19	57	9	22	4	17	1	4	4											1
65 ~ 69	33	48	20	28	14	19	1	3	6	1										1
70 ~ 74	23	35	15	22	12	19		3	2											1
75 ~ 79	9	15	4	8	3	3	1	1	3											1
80歳以上	9	8	4	3	4	3														
計	192	317	77	139	53	98	5	8	15	25	1	1	0	0	1	1	0	0	1	2
合 計	509		216		151		13	40		2	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3

2) 平成10年度C型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果

年 齢	健康指導対象者 (平成10年4月1日 現在の実人数)		受診者数 (平成11年3月31日 現在の実人数)		定 期 検 査										結 果					
	男	女	男	女	健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		健 康 指 導		結 果			
	無 症 候 性 HCVキャリア	無 症 候 性 HCVキャリア	無 症 候 性 HCVキャリア	無 症 候 性 HCVキャリア	脂 肪 肝	脂 肪 肝	慢性肝炎	慢性肝炎	肝 硬 変	肝 硬 変	肝臓がん疑い	肝臓がん疑い	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	肝臓がん	
40 ~ 44	4	7	0	1				1												
45 ~ 49	5	11	0	3	2			1												
50 ~ 54	5	14	5	6	3	3	1	1	1	1										1
55 ~ 59	9	31	2	14	5			6	1											1
60 ~ 64	31	80	13	36	6	19	1	6	13	1										1
65 ~ 69	39	81	17	44	5	16	3	2	9	19	1									2
70 ~ 74	39	74	24	43	7	19	1	3	12	16	1									3
75 ~ 79	25	42	8	12	5	8	1	1	1											1
80歳以上	24	21	12	10	6	8		3	2											1
計	181	361	81	169	32	80	5	6	31	59	3	4	0	0	1	1	0	0	1	7
合 計	542		250		112		11	90		7	1	1	0	0	1	1	0	0	1	8

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス 陽性者	509人	216人	40人 (18.5%)	2人 (0.9%)	2人 (0.9%)
C型肝炎ウイルス 陽性者	542人	250人	90人 (36.0%)	7人 (2.8%)	9人 (3.6%)

(3) 肝臓がん検診発見がん患者追跡調査結果について

1) 肝炎ウイルス陽性者定期検査(がん疑いまたはがん)

No	診断時 年齢	性	診断	治療	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
1	48	男	嚢胞							B	
2	77	女	悪性リンパ 腫肝移転							B	平成11年5月死亡
3	69	女	腫瘍認めず						有	C	
4*	77	男	癌	切除	単発	S6	37×35	腫瘍	無	C	*(平成6年8月手術)
5	71	男	癌	切除	単発	S8	30×30	腫瘍	有	C	平成7年8月手術
6	76	女	癌	TAE	単発	S8	40×30	腫瘍	有	C	平成10年6月初回
7	70	男	癌	切除	単発	S8	40×30	腫瘍	有	C	平成10年9月手術
8	63	男	癌	切除	単発	S8	40×40	腫瘍	有	C	平成9年2月手術
9	83	男	癌	TAE	>4個	S35678	40×30		有	C	
10	71	男	癌	TAE	2個	S68	30×30	腫瘍	無	C	平成9年7月初回
11	68	男	癌	MCT	4個	S2377	27×27	腫瘍	有	C	平成11年1月初回

2) 平成7・8・9年度肝臓がん検診発見がん追跡調査報告

No	診断時 年齢	性	治療	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考	
1	74	女	切除	95.10.24	単発	S4	55×55	腫瘍	有	C	1年6か月後再発
2	70	女	TAE/PEIT	96.02.20	単発	S8	40×38	腫瘍	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.03.13	単発	S7	30×23	腫瘍	有	C	無再発生存中
4	83	男	TAE	96.07.15	単発	S4	12×12	腫瘍	無	C	無再発生存中
5	74	女	TAE	96.08.29	4以上	S5678	35×35	腫瘍	無	C	1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25	4以上	S67	67×57	腫瘍	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.01	2個	S6	20×20	腫瘍	有	()	1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22	単発	S5	25×25	腫瘍	有	C	9か月後同所再発
9	69	男	PEIT	97.01.07	単発	S7	10×9	腫瘍	無	C	2年6か月後再発
10	73	女	TAE/切除	97.11.17	4以上	S234	80×60	腫瘍	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17	3個	S568	10×10	腫瘍	有	C	TAE計5回生存中
12	75	男	TAE	97.12.04	単発	S7/8	40×32	腫瘍	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.03.03	単発	S1	70×50	腫瘍	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.07.31	単発	S5/6	25×25	腫瘍	無	C	9か月後死亡

7. 全国がん検診実績との比較

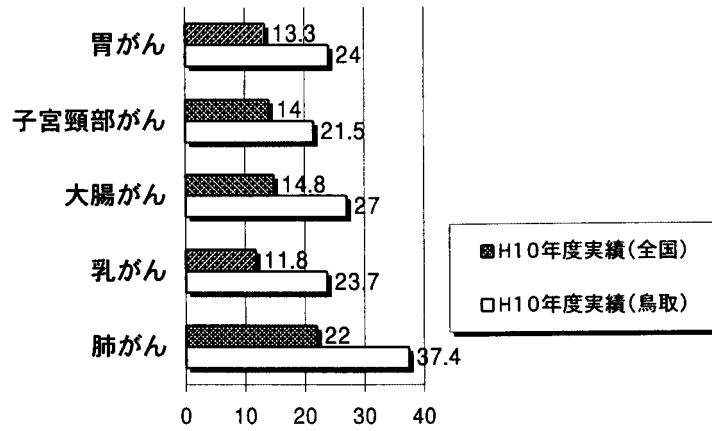
(単位：人 %)

区 分		平成10年度実績(鳥取)	平成10年度実績(全国)
胃 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	171,250	31,583,056
	受 診 者 数(人)	41,165	4,186,620
	受 診 率(%)	24.0	13.3
	要 精 検 者 数(人)	7,526	518,450
	要 精 検 率(%)	18.3	12.4
	精 検 受 診 者 数(人)	5,671	399,552
	精 検 受 診 率(%)	75.4	77.1
	がん又はがんの疑いのある者	95	7,279
	が ん 発 見 率(%)	0.23	0.17
	H10年度受診率全国順位	7	
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	124,486	25,387,557
	受 診 者 数(人)	26,787	3,565,682
	受 診 率(%)	21.5	14.0
	要 精 検 者 数(人)	113	34,636
	要 精 検 率(%)	0.42	1.0
	精 検 受 診 者 数(人)	91	25,042
	精 検 受 診 率(%)	80.5	72.3
	がん又はがんの疑いのある者	42	6,991
	が ん 発 見 率(%)	0.16	0.20
	H10年度受診率全国順位	9	
肺 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	172,667	31,980,658
	受 診 者 数(人)	64,540	7,030,639
	受 診 率(%)	37.4	22.0
	要 精 検 者 数(人)	137	180,527
	要 精 検 率(%)	0.21	2.6
	精 検 受 診 者 数(人)	111	142,313
	精 検 受 診 率(%)	81.0	78.8
	がん又はがんの疑いのある者	48	6,117
	が ん 発 見 率(%)	0.07	0.09
	H10年度受診率全国順位	12	

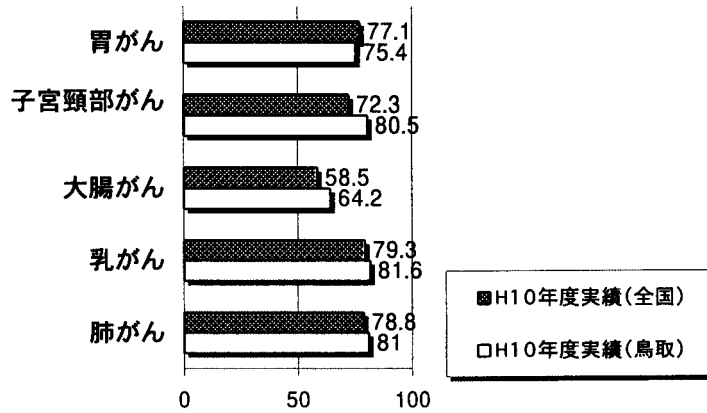
区 分		平成10年度実績（鳥取）	平成10年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	127,118	26,121,606
	受 診 者 数(人)	30,086	3,079,185
	受 診 率(%)	23.7	11.8
	要 精 検 者 数(人)	610	133,507
	要 精 検 率(%)	2.03	4.3
	精 検 受 診 者 数(人)	498	105,919
	精 検 受 診 率(%)	81.6	79.3
	がん又はがんの疑いのある者	29	4,446
	が ん 発 見 率(%)	0.10	0.14
	H10年度受診率全国順位	3	
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	182,629	34,114,819
	受 診 者 数(人)	49,302	5,062,822
	受 診 率(%)	27.0	14.8
	要 精 検 者 数(人)	4,690	356,013
	要 精 検 率(%)	9.5	7.0
	精 検 受 診 者 数(人)	3,013	208,394
	精 検 受 診 率(%)	64.2	58.5
	がん又はがんの疑いのある者	159	10,637
	が ん 発 見 率(%)	0.32	0.21
	H10年度受診率全国順位	6	

老人保健事業健康診査（平成10年度実績）

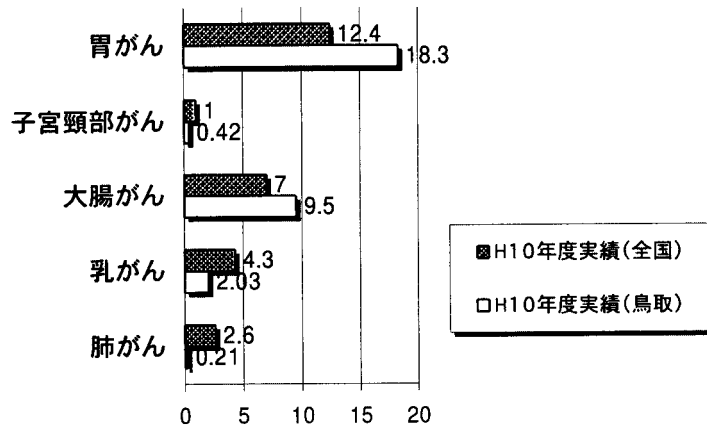
受診率(%)



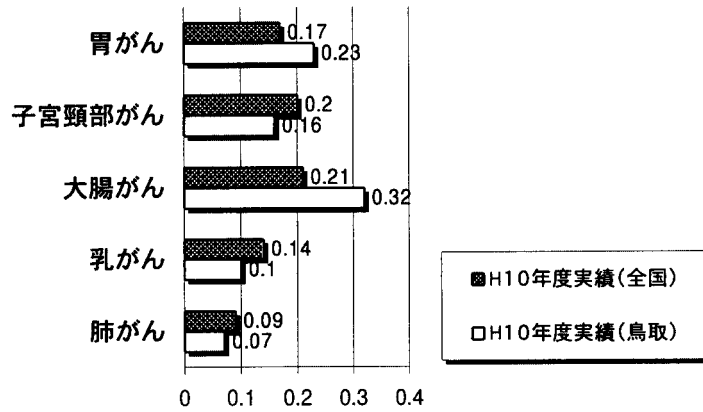
精検受診率(%)



要精検率(%)



がん発見率(%)



**・平成11年度各がん検診従事者講習会及び
症例研究会開催状況**

平成11年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事業名	開催日時	会場	出席者数	内容
胃がん検診従事者講習会	平成12年3月4日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	98名	シンポジウム「胃集検の陽陰性例をなくすために 陽陰性例の検討を中心に」 秋藤洋一先生 佐藤 徹先生 吉中 正人先生 謝花典子先生 大久保 誠氏 鳥取県立中央病院内科医長 若美病院内科医長 吉中胃腸科医院院長 山陰労災病院第3消化器内科部長 鳥取県保健事業団放射線係長 追加発言 山陰労災病院第2内科部長 三浦邦彦先生
子宮がん検診従事者講習会	平成12年2月3日(土) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館	51名	演題「子宮がん検診の精度管理向上について」 講師：鳥取県立中央病院産婦人科 部長 皆川幸久先生
子宮がん検診症例研究会	平成11年11月23日(火) 午後1時	米子市 西部医師会館	50名	症例検討 子宮頸部がん発見症例 単検診4例、施設検診2例
肺がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年2月26日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	61名	演題「過去11年間の鳥取県の肺がん検診の解析から ～女性肺がんの特徴と転移性肺腫瘍の発見～」 講師：鳥取大学医学部第2外科 講師 中村廣繁先生 症例検討 「平成10年度専検診発見肺がんについて～前年度フィルムの比較検討」 鳥取県立厚生病院 仙田哲朗先生
乳がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成11年7月31日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	52名	演題「鳥取県の乳がん検診の現状について」 講師：鳥取県福祉保健部参事監 兼 健康対策課 課長 藤井紀男先生 演題「乳房撮影を併用した乳がん検診の経験」 講師：智頭病院 杉山長毅先生 演題「中部地区での乳がん検診の実情」 講師：鳥取県立厚生病院外科 部長 深田民人先生 症例検討 東部 1例：鳥取県立中央病院 前田伴幸先生 西部 1例：博愛病院 衣笠陽先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 佐伯宗弘先生
大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年3月25日(土) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館	110名	講演「鳥取県地域がん登録よりみたがんの動向 大腸がんを中心に」 講師：鳥取大学医学部衛生学教室 教授 岸本拓治先生 症例検討 東部 1例：鳥取県立病院 高谷昌宏先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 金藤英二先生 西部 1例：国立米子病院 山本哲夫先生
肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年3月18日(土) 午後4時	米子市 西部医師会館	80名	演題「肝臓癌の画像診断とIVR」 講師：鳥取市立病院放射線科 副部長 松木 勉先生 症例検討 東部 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 中部 1例：県立厚生病院 森田民人先生 西部 1例：山陰労災病院 岸本幸廣先生

1. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成11年11月23日（火） 午後1時

場 所 西部医師会館

寺川直樹鳥取県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会長と長田昭夫鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会委員長の挨拶があった。

1. 症例検討

鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員 井庭信幸委員並びに紀川純三委員の進行により車検診症例 4例、施設検診症例 2例について症例検討が行われた。

各症例の詳細な検討の結果、次の点について意見の交換があった。

- 1) 車検診において、鳥取県保健事業団による細胞診の結果、要精検となったものについての受診勧奨について。
 - 2) 車検診において、細胞診判定不能（細胞数が少ないなど）であった例について、市町村を通じ、再検査のため医療機関を受診するよう勧奨出来ないか。
 - 3) 車検診における内診結果と精度管理上の問題について。
- 以上の点について、次回の委員会迄に対策を講じることとなった。

症 例	年齢	受診年月日	判定	所 見	1次検診機関名	精密検査機関名	精密検査結果	治療機関
症例 1	50才	H06・11・18		trichomonas	井田レディースクリニック			
		H07・11・11		trichomonas				
		H08・12・25		trichomonas				
		H09・12・13		trichomonas				
		H10・12・29		非角化型扁平上皮癌		井田レディースクリニック	子宮頸がん b 期	鳥大医附属病院
症例 2	49才	H10・12・14		頸部腺癌	車検診	博愛病院	子宮頸がん 0 期	鳥大医附属病院
症例 3	45才	H09・06・02		要内臓精査	車検診	鎌沢産婦人科医院	AIS	鳥大医附属病院
症例 4	38才	H09・09・01	陰性	異常を認めず	鳥取産院			
		H10・08・05	陽性	体部腺癌		鳥取赤十字病院	子宮体がん 期	鳥取赤十字病院
症例 5	56才	H07・08・07		炎症	車検診			
		H08・08・08		異常を認めず				
		H09・06・11		異常を認めず				
		H10・07・15		扁平上皮癌		鳥取市立病院	子宮頸がん 期	鳥取市立病院
症例 6	69才	H07・02・02	a	Class a 以上	車検診	鳥取市立病院	中等度異形成	鳥取市立病院
		H08・02・01	a	異形細胞を認める		未受診		
		H09・01・13	b	高度異形成		未受診		
		H10・01・08	a	錯角化細胞を認む		未受診		
		H11・01・06		CIS		鳥取市立病院	子宮頸癌 a	鳥取市立病院

2 . 肺がん検診症例研究会

日 時 平成12年2月26日(土) 午後4時

場 所 中部医師会館

報告者：鳥取県立厚生病院 仙田哲朗・荻野隆一

平成10年度の肺がん検診で、29症例の肺癌が新たに発見された。この中で平成10年の胸部間接X線写真で病変部の同定が可能であり、かつ平成9年の比較読影が可能な19例を対象として間接X線写真を供覧するとともにretrospectiveに見落としの状況を総括した。

結 果

平成9年の写真で、全く異常を指摘しえないものは5例であり、僅かでも変化を認めるものは14例(74%)であった。

後者のうち、正常構造物との重なりのための見落としが7例(心臓2例、第一肋骨2例、乳房1例、胸筋1例、帯による締め付け1例)、単純な見落としは3例、陰影が淡いかもしくは変化が軽微であったための見落としが4例であった。

また、これらのうち7例は、病変部の指摘が十分可能であり、見落とし率は74%から37%(7/19)までは引き下げ可能と推定された。

さらに、指摘可能な7例中6例が平成8年にも検診を受けており、retrospectiveではあるが4例に異常が指摘可能であった。

3 . 乳がん検診症例研究会

日 時 平成11年7月31日(土) 午後4時

場 所 中部医師会館

〔東部症例〕

提出者：鳥取県立中央病院 前田 伴 幸

摘出生検後に腋窩リンパ節郭清を施行した乳癌の一例

48歳、女性

右乳房腫瘍を主訴に当科受診、穿刺吸引細胞診にてclass bであったため、局所麻酔下にlumpectomyを施行した。papillotubularcarcinomainmastopathy、大きさ10×10×11mm、ly₁、v₁、ER(+) PR(+) 断端陰性の病理診断を得たので、後日、右腋窩リンパ節郭清術(level₂)を追加し、術後残存乳房へのRTとタモキシフェン投与を開始した(t₁n₀m₀ stage)。乳癌が疑われる症例に摘出生検を施行する場合は、可能であれば十分なマージンを取るべきと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 佐伯 宗 弘

52歳、女性

今まで乳癌検診を受けたことはなかった。平成11年2月5日に乳癌検診を受診し、右乳房C領域に2cm大の腫瘍を指摘された。検診時診断は乳癌で精密検査が必要と判断された。同日午後当院受診し乳房X線検査、超音波検査、穿刺吸引細胞診を施行した。その結果、病期 の閉経後右乳癌と診断した。平成11年2月16日に胸筋温存乳房切除術(児玉法)を施行した。術後病理診断は浸潤性乳管癌で、病理病期はt₂n₂m₀の 期乳癌であった。術後にCAF療法を開始し、特に副作用を認めず2クール目以降は外来で行うこととし平成11年3月16日退院となった。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 衣笠 陽 一

49歳、女性

両側異時性乳癌の症例を報告した。1993年12月27日左乳癌のため当科で左乳房切除術を行い、術後Tamoxifen、UFTEを投与した。その後、1ヶ月に1回外来にて経過観察を行っていたが、1998年初頭より更年期障害が強くなり、他院でホルモン治療が開始された。5月頃より右乳房の疼痛と腫脹感が出現し、他院で右乳腺腫瘍を指摘され7月6日当科に紹介された。検査で悪性が疑われたため摘出生検を行ったところ乳癌であったため、7月31日に右非定型乳房切除術を児玉法にて行った。

通常、乳癌の既往のある更年期障害を有する症例に対してはホルモン治療を行わず

漢方薬などが投与されている。また、本症例は反対側に腫瘤が発見される1ヶ月前にも外来で診察していた。羞恥心あるいは面倒なためか着衣のまま診察をせざるを得ず、乳腺の触診が不十分であったと思われる。

4 . 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成12年3月25日(土) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取市立病院 高 谷 昌 宏

72歳、男性。

平成10年6月、大腸がん検診にて便潜血陽性を指摘され、当院を受診した。

7月13日、下部消化管内視鏡検査にて横行結腸に直径13mmの中央部がやや陥凹した扁平隆起を認め、クレシールバイオレット染色下に拡大内視鏡観察を行ったところ、病変の主体は Ⅱ型pitを示し、asymmetricで、一部にscratchsignが観察された。このため本病変を、smに軽度浸潤した大腸癌と診断し、内視鏡治療を計画し、生検を行わず、検査を終了した。この後、肺癌の併発が判明し、8月14日肺癌の手術が施行された。

10月27日、大腸病変に対する内視鏡的治療目的で下部消化管内視鏡検査を行ったところ、病変は前回検査時に比べ、やや発赤陥凹が目立って観察された。内視鏡的粘膜切除法にて切除した。切除標本に対する実体顕微鏡観察では、初回の内視鏡下の拡大観察とほぼ同様の表面性状が観察された。病変は高分化腺癌で、やや乳頭状の発育を示す傾向が認められ、腫瘍の一部がsmに浸潤していた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 金 藤 英 二

66歳、男性

主 訴：精査希望

現病歴：平成11年4月26日、精査希望し初診。便潜血陽性。5月21日、注腸造影：異常なし。6月29日、盗汗、白血球・血小板数減少、高LDH血症のため入院。

8月4日CF、8月13日注腸造影で、横行結腸にBorr 様の全周性腫瘍を認め8月20日、右半結腸切除術。組織診は悪性リンパ腫(Tcelllymphoma)。

既往歴：特記すべきものなし。

家族歴：母が大腸癌

入院時現症：身長159cm、体重54kg、血圧130/84、脈拍90/分、整、貧血(+)、黄疸(-)、体温38.3

約3ヵ月間で急速に増大した大腸腫瘍(悪性リンパ腫)の1例であった。

〔西部症例〕

提出者：国立米子病院 山本哲夫

74歳、男性

主訴：頻尿

臨床経過：平成10年11月便秘、下腹部不快感を主訴に近医受診す。便潜血検査陽性であり某病院に紹介され注腸X線検査を受け、S状結腸下行結腸移行部(SDJ)に約6cmにわたる狭窄、伸展不良、辺縁の不整像と憩室を指摘される。大腸内視鏡検査は痛みが強く、同部位の観察はできなかった。平成11年3月同病院にて注腸X線検査を再検され、SDJの伸展不良等は持続していたが、憩室炎による変化と診断された。

平成11年7月頻尿出現し近医より当院泌尿器科紹介。尿細胞診陽性、膀胱造影にて消化管も造影され、更に膀胱鏡にて発赤した粘膜より生検にて腺癌を認め当科紹介となった。注腸X線検査では、SDJに高度の狭窄、圧排所見を認めた。骨盤部CT、MRI所見では、S状結腸と膀胱の間に腫瘤を認め、以上の所見より、S状結腸癌の膀胱浸潤と診断、手術が行われた。肉眼的には、S状結腸の壁外に腫瘤を形成していたが、S状結腸粘膜にも瘻孔を伴う癌性潰瘍を認め、組織学的には中分化型腺癌で大腸原発と考えられた。

憩室もあったために憩室炎による伸展不良と診断され、見逃された症例であったが、明らかな炎症所見を伴わない憩室炎が長く持続することはなく、またCFが入らない場合、CT、MRI等の他の検査も行い総合的な診断が必要と考えられた症例であった。

5 . 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成12年 3月18日 (土) 午後 4 時

場 所 西部医師会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松 田 裕 之

74歳、女性

既往歴：1983年 直腸癌手術 輸血 (+)

家族歴：父 肝癌、兄 肝硬変、それぞれ死亡

現病歴：1983年 6月直腸癌手術以後当院外科通院、又1994年 4月以来高血圧のため当院内科通院加療中、1995年 6月肝臓がん検診の際anti HCV陽性を指摘され、同年 7月内科受診。HCV RNA陽性よりC型慢性肝炎と診断され、定期超音波検査を勧められるも検査せず。検診前と同様の定期通院のみ継続中、1998年 5月外科定期受診の際AFP高値を指摘され精査を勧められる。この間 GOT・GPT値は正常域で経過していた。

入院時検査成績：GTO30U/l, GPT21U/l, Alb4.0g/dl, T.Bil0.6mg/dl, PT9.7sec, ICG 5%, AFP673ng/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S₂径20mm hypo echoic lesion

CT 同部 delayed phaseでlow density

MR 同部 T1wiso intensity

T2whigh intensity

CT AP 同部 defect (+)

CT A 同部 stain (+)

以上より、C型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診 断：肝細胞癌、T 1・臨床病期 1 期

治 療：1998年 7月肝左葉外側域部分切除施行。腫瘍径18×18mm、中分化型肝細胞癌、非癌部は(F 2、A 1)の慢性肝炎像であった。

考 察：肝臓がん検診でC型慢性肝炎と診断されながら定期超音波検査を受けず、AFP高値を契機に発見・診断された肝細胞癌症例。幸いにして、小肝細胞癌でありながら、AFPを産生する腫瘍であり根治的な処置が行われたが、本例の如く、GOT・GPT値が正常域で経過する症例においても定期超音波検査による肝癌早期発見を目的としたスクリーニングが重要と考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 深 田 民 人

56歳、男性

主 訴：右季肋部痛

家族歴：兄が肝癌で死亡。

既往歴：特記事項なし

現病歴：平成10年12月29日午後8時30分頃、孫（15kg）を腹や背中に乗せて遊んでいたところ、突然右季肋部の激痛が出現し、当院救急外来を受診した。

US、CT検査後入院となった。

臨床経過：平成10年12月29日 US、CTでS₆の肝腫瘍と少量の腹水を認めた。
安静で腹痛は軽減していたが、12月30日午後2時過ぎ、激しい腹痛でショックとなり午後3時、緊急Lipiodol TAEIが施行された。肝動脈造影でS₆原発の肝癌が破裂で、右肝外側の血腫形成を認めた。
帰室後バイタルサインは落ち着いていた。

平成11年1月8日 CT検査で右肝外側の血腫は増大し、肝を左方に圧排していた。

平成11年1月18日 外科転科。ICG15Rは7%、腫瘍マーカーはAFP 6,249ng/ml、PIVKA 13mAU/mlであった。

1月26日 肝切除HrS（P，a）

2月13日 退院

3月5日 AFP14.7

7月28日 AFP137と上昇してきた

8月4日 CT検査でTumorを指摘できなかった。

8月27日 AFP205

9月24日 CT検査でTumorを指摘できなかった。

10月15日 AFP584

11月26日 AFP1,432と上昇

12月28日 CT検査で右腎下極レベルに充実性6cm大のTumorを示現

平成12年1月11日 再入院
AFP22,000、PIVKA 48、HBs Ab(±)、HCV(-)

1月20日 手術（小腸、回盲部合併腫瘍摘出）
Hist.: HCC、Edmondson 型、すべてviableで小腸浸潤(+)

3月1日 AFP115と低下

破裂性肝癌術後に、腹腔内播種にて腫瘍塊を形成し摘出し得た稀な症例を報告した。このような例では、CT検査は骨盤内レベルまで行なうべきであった。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 岸本幸廣

はじめに：今回は、委員会より肝臓がん検診で発見された肝癌症例の提示が要望されていた。平成7年から平成12年3月までの間に当施設において肝臓がん検診で発見された肝癌ないしは肝癌が疑われた症例は2例であり、そのうち1例は既に平成9年度の症例研究会で、背景肝臓が脂肪肝であったために肝血管腫の画像診断が特異的な所見を呈したとして報告した。この度はもう1例について症例を呈示する。

80歳、女性

主訴：肝臓がん検診にて肝腫瘤を指摘された。

既往歴：1975年 胃潰瘍にて手術。

1989年 交通事故にて手術を受けた際、輸血を受け、その後輸血後肝炎を発症したが、経過良好といわれた。

1997年 急性胆嚢炎にて手術。摘出胆嚢に悪性所見はみられなかった。

生活歴：飲酒歴、喫煙歴ともになし。

現病歴：1997年 鳥取県肝臓がん検診にてHCV抗体陽性を指摘され、近医を受診し、腹部超音波検査にて肝内に腫瘤を指摘された。

1998年3月9日 精査目的にて当科へ紹介、入院となった。

入院時現症：142.7cm、40kg。貧血、黄疸はなし。腹部では肝臓を右季肋下に2横指触知した。

検査成績：WBC4700/ μ l, Plt14万/ μ l, TB0.7mg/dl, GOT21IU/l, GPT16IU/l, LDH330IU/l, GTP31IU/l, Alb4.0g/dl, ZTT5.8KU, ICG(K)0.126, ICG(R15)14.6%, HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HCVAbs(+) HCVRNA(-) AFP0ng/ml, PIVKA II 18mAU/ml, CEA3.1ng/ml, CA19.9 11 U/ml

腹部US所見(1)：肝S₅₋₆に25mm大の腫瘤を認めた。腫瘤は低エコーが主体で内部にやや高エコーの部分も混在していたが、被膜所見は認めなかった。

DynamicCT(1)：肝S₅₋₆の腫瘤は動脈相で中心部の一部を除いて造影され、平衡相で中心部の一部のみが造影効果を認めた。

臨床経過：以上の所見より、肝細胞癌を強く疑い手術ないしはPEITを勧めたが、患者の希望により経過観察となった。なお、HCV感染は既往の感染と診断した。その後、腫瘤は急速に増大してきたため再度治療を勧め、同年7月16日再入院となった。

腹部US所見(2): 肝S₅₋₆の腫瘤は50mm大に増大しており、等～高エコーを呈し、辺縁はやや不整でいわゆる花弁状の形態を示していたが、被膜は認めなかった。また、臍頭部付近に20mmと10mm大の低エコー所見を呈する腫瘤を認め、リンパ節転移を疑った。

DynamicCT(2): 腫瘤は動脈相では周辺のみが造影効果を認め、平衡相では主として中心部が造影された。また、被膜、隔壁などは認めなかった。

血管造影所見: 動脈相で不整な血管像、静脈相で腫瘍濃染像を認めた。

臨床診断: 以上の所見より、リンパ節転移を伴う肝S₅₋₆の肝内胆管細胞癌と診断し、手術を施行した。

手術および病理組織学的所見: 腫瘤は35×55mmの大きさで、リンパ節転移を多数認めた。腫瘤の組織所見は低分化型の胆管細胞癌であり、非癌部はほぼ正常の肝組織所見であった。

考 察: 本例は初回入院時の肝腫瘤が25mm大のときは、HCV感染は既往の感染であり、肝硬変の所見を伴ってはいなかったが、画像所見より肝細胞癌を強く疑った。しかし、腫瘤の増大に伴い典型的な肝内胆管細胞癌の画像所見を呈してきた。

肝内胆管細胞癌は原発性肝癌の約4～5%を占めているが、HCV抗体の陽性率は肝細胞癌より有意に低く平均16%程度と報告されている。また、腫瘍マーカーの陽性率はCA19-9が最も高く70%であるが、本例では、主な腫瘍マーカーは全て陰性であった。本例の教訓として、ウイルスマーカーおよび腫瘍マーカーなどにとらわれることなく画像所見の深い読みが重要であると考えられた。

6 . 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回数	症例数	参加者 延べ数 (人)	回数	症例数	参加者 延べ数 (人)	回数	症例数	参加者 延べ数 (人)	回数	症例数	参加者 延べ数 (人)
胃 が ん	16	38	648	9	22	258	23	1,717	540	48	1,777	1,446
子宮がん												
肺 が ん	5	16	76	10	43	106	11	67	51	26	126	233
乳 が ん	1	7	28	1	2	18	1	9	36	3	18	82
大腸がん	8	14	404	6	11	170	23	390	540	37	415	1,114
合 計	30回			26回			58回			114回		

．各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定致しました。これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することになりました。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857 27 5566）へお問い合わせ下されれば幸いです。

記

1．改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたのものについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に取り扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2．次回の更新時期

名 称	更 新 日	手続実施時期	従事者講習会等 受講点数対象期間
胃 が ん	H13.4.1～	H12年度中	H10.4.1～H13.3.31
子 宮 が ん	H13.4.1～	H12年度中	H10.4.1～H13.3.31
肺 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H12.4.1～H14.3.31
乳 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H11.4.1～H14.3.31
大 腸 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H11.4.1～H14.3.31
肝 臓 が ん	H13.4.1～	H12年度中	H10.4.1～H13.3.31

大腸がん、肝臓がんは更新日から3年間、その他は更新日から2年間で登録期間とする。

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第6報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 岡 本 公 男